平成30年度

事　業　年　報

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society　鹿児島県支部

赤十字基本原則

（1965 年ウィーンで開催された第 20 回国際会議議決）

人 道　赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平　赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位、又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取扱う。

中 立　すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

独 立　赤十字は独立である。各国赤十字は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律には従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕　赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一　いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性　赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

ご あ い さ つ

皆様には、日頃から赤十字事業にご理解をいただき、支部事業の推進にお力添えを賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

日本赤十字社は、１９１の国や地域に広がる国際赤十字の一員として、世界中で絶え間なく起こる災害や紛争の被災者への救援活動、疾病や感染症などの健康問題に苦しむ人々のための保健衛生事業等を、各国の赤十字社と連携して展開しています。

さて、日本国内におきましては、平成２３年の東日本大震災、平成２８年の熊本地震の傷が癒えない中、昨年も西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震などが発生し、多くの方々が被災され、尊い人命が失われました。

日本赤十字社では、全国の支部等の連携のもと、救援物資の輸送・配分、医療救護班やこころのケア班の派遣とともに、義援金募集も行いました。

一方、鹿児島県内においては、昨年９月に台風２４号が襲来し、奄美地方を中心に暴風・大雨の影響により、大きな被害が発生したため、医療救護班の派遣はなかったものの、救援物資（毛布・タオルケット・ブルーシート等）の輸送・配分を行いました。

このように、いつどこで大きな災害が発生するかわからない昨今、県支部としましては、迅速かつ機動的に対応できるよう災害救護体制の強化に努め、併せて県民の皆様に「防災・減災教育」の活動を更に充実させていきたいと考えております。

次に、病院事業については、公的医療機関として地域医療の充実に貢献するため、災害時の医療救護、離島・へき地医療への取組みはもとより、各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしてきました。

血液事業については、採血・供給業務を受け持つ地域血液センターとして、少子高齢社会に対応した献血者の安定的な確保と、安全な輸血用血液の安定供給に努めました。

社会福祉事業については、全室個室のユニット型特別養護老人ホームとして、質の高いサービスを提供するとともに、入居者の安全対策・環境整備や地域の皆様方との交流、ボランティアの受入れなど地域との連携に努めました。

これらの事業をはじめとする、平成３０年度の各種支部事業については、概ね当初の計画を達成することができました。これもひとえに、皆様方の赤十字事業へのご理解とご支援の賜物と心からお礼申し上げます。

なお、赤十字の活動を支える財政的基盤である社資の募集は、地区・分区等におきまして町内会･自治会、赤十字奉仕団、赤十字有功会等のご協力を得ながら行っておりますが、年々厳しい環境の中で、さらに赤十字の活動をご理解いただけるよう積極的な啓発と広報に努めるとともに、県民の皆様の期待に応えられるような活動の充実を図ってまいりたいと考えております。

ここに平成３０年度の事業実施状況を報告いたしますので、ご高覧のうえ、今後とも県民の皆様のなお一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和元年６月

日本赤十字社鹿児島県支部
支部長　三 反 園　 訓

目　　次

1　災害救護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（1）　常備救護班の設置
（2）　災害救護活動
（3）　災害救護訓練等の実施
（4）　救援物資の備蓄・配分
（5）　救護資機材の整備
（6）　赤十字救護連絡所の医薬品等補充
（7）　救急用担架の配備
（8）　海難被災者に対する救援
（9）　臨時救護
(10)　非常炊き出し訓練の実施
(11)　赤十字防災セミナーの実施
(12)　死亡弔慰金の支給
(13)　義援金の取扱い状況

2　看護師の養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

3　救急法等の講習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
（1）　救急法
（2）　水上安全法
（3）　健康生活支援講習
（4）　幼児安全法
（5）　救急法等指導員の在籍状況

4　赤十字奉仕団の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
（1）　赤十字奉仕団組織図
（2）　赤十字奉仕団及び奉仕団員数
（3）　地域赤十字奉仕団結成状況
（4）　総会及び研修会等開催状況
（5）　地域赤十字奉仕団研修会開催状況
（6）　地域高齢者生活支援事業の実施
（7）　赤十字奉仕団登録一覧表

5　青少年赤十字の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
（1）　校種別加盟状況
（2）　加盟校の推移
（3）　会議等の参加及び開催
（4）　研修活動
（5）　加盟推進活動
（6）　高校協議会の活動
（7）　機関紙の発行

（８） その他の青少年赤十字活動
（９） 校種別加盟校名簿

６　国際活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
（１） 青少年赤十字海外派遣事業
（２） 「ＮＨＫ海外たすけあい」寄附金募集
（３） 海外救援金の取扱い状況
（４） その他

７　広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
（１） ５月の会員増強運動月間広報
（２） 各種イベント等の活用による広報
（３） 「私たちは、忘れない。」～防災・減災プロジェクト～パネル展
（４） 見学誘致・出前講座による広報
（５） 刊行物による広報
（６） インターネットによる広報

８　赤十字大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
（１） 全国赤十字大会
（２） 九州八県赤十字大会
（３） 鹿児島県赤十字有功会総会

９　会員増強運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
（１） 平成３０年度社資募集状況及び過去５か年間の推移
（２） 平成３０年度地区・分区別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）
（３） 平成３０年度地区・分区別社資納入状況一覧表（対前年度比較）
（４） 平成３０年度地区・分区別会員募集実績前年対比一覧表
（５） 平成３０年度赤十字会員増強運動功労表彰
（６） 過去５か年間の種別会員（社員）数の推移
（７） 平成３０年度一般社資金額別内訳一覧表
（８） 平成３０年度法人社資金額別内訳一覧表
（９） 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿

１０　医療事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
（１） 一般医療
（２） 医療救護活動
（３） 医療社会事業

１１　血液事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
（１） 採血・供給実績
（２） 献血推進
（３） 受入体制
（４） 供給体制
（５） 医薬情報活動

（6） 献血者登録制度の推進
（7） 骨髄バンク事業
（8） 献血功労者表彰

１２　社会福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
（1） 指定介護老人福祉施設事業
（2） 指定居宅サービス（短期入所生活介護）事業
（3） 入居者へ質の高いサービスの提供
（4） 入居者の安全対策・環境整備
（5） ボランティアの受入れと地域との連携
（6） 実習生の受入れ
（7） 地域貢献活動について
（8） 広報活動について
（9） その他
（参考）平成３０年度における入居者の状況

１３　評議員会及び監査等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７５
（1） 支部評議員会
（2） 業務監査
（3） 地区・分区関係各種会議等

１４　決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７７
（1） 平成３０年度一般会計歳入歳出決算書
（2） 平成３０年度医療施設特別会計歳入歳出決算書
（3） 平成３０年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８３

○　本社及び支部組織図等
○　日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿
○　日本赤十字社鹿児島県支部評議員名簿
○　日本赤十字社現勢
○　支部の現勢
○　支部の沿革

１　災　　害　　救　　護

災害救護は、日本赤十字社の行う最も重要な事業の一つであり、当県支部では救護班を常備するとともに、災害救護活動の速やかな実施や各種救護訓練、災害救護資機材等の整備に努めた。

（１）常備救護班の設置

日本赤十字社救護規則に基づいて、８常備救護班を設置し、災害救護活動に備えた。

◎常備救護班の編成状況

	医　師	看護師長	看護師	主　事	計
１個班の編成	１	１	２	２	６人
常備要員数	８	８	１６	１６	４８人

（２）災害救護活動

ア　７月豪雨災害（広島県、岡山県）

西日本を中心に全国的に広い範囲で発生した豪雨により特に広島県と岡山県に被害が発生した。

鹿児島県支部では災害警戒本部を設置し情報収集等を行い、広島県に医療救護班１個班の派遣準備をしたが、派遣までには至らなかった。

また、日赤岡山県支部から支援要請があり、支援要員(職員)を派遣した。

・派遣期間　　　７月１９日（木）～２４日（火）
・派遣先　　　　日赤岡山県支部
・派遣者　　　　日赤鹿児島県支部　　１人

イ　台風２４号被害

９月２９日に台風２４号が鹿児島県に接近し、奄美地域を中心に暴風・大雨で床上床下浸水等の被害が発生した。

鹿児島県支部では災害対策本部を設置し離島の地区・分区等に情報収集等を行い、被害を受けた地区・分区へ救援物資を輸送・配分(補充を含む)した。

地区・分区名	毛　　布 (枚)	緊急セット (ｾｯﾄ)	タオルケット (枚)	ブルーシート (枚)
鹿屋市地区	６０	３０	３０	３０
奄美市地区 (住用含む)	０	５４	８０	１６０
奄美市地区 笠利分区	０	０	５０	６０

瀬戸内町分区	６０	３６	３０	３５
喜界町分区	８０	３６	９０	３５
徳之島町分区	５０	３０	３０	３０
天城町分区	５０	３０	３０	３０
伊仙町分区	２１０	１０８	１２０	１１５
和泊町分区	２０	１２	２０	２０
与論町分区	１０	１２	１０	２０
大島地区	０	３６	８０	１００
計	５４０	３８４	５７０	６３５

（３）災害救護訓練等の実施

ア　日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

「佐賀平野北縁断層帯を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、佐賀県南部で震度７を観測し佐賀市を中心とした地域で家屋の倒壊、地すべり、火災等が多発し負傷者が続出。電気・ガス・通信施設等に甚大な被害が出た。」との想定で、１２月２日（日）～３日（月）に日赤佐賀県支部(支部災対本部訓練)、佐賀市水防センター(救護所・合同調整所訓練)、ホテル龍登園(訓練検討会・全体会)において実施された合同災害救護訓練に参加した。

・参加者

	日赤鹿児島県支部	４人
	鹿児島赤十字病院	５人
	鹿児島県赤十字血液センター	１人
	特別養護老人ホーム錦江園	１人
	計	１１人

イ　各機関が実施する防災訓練への参加

(ｱ) 鹿児島県総合防災訓練

「種子島東方沖を震源とする地震・津波や集中豪雨などの複合災害により、多数の負傷者や孤立住民が発生。」との想定で、５月２７日（日）に指宿市の開聞総合体育館、開聞総合グラウンド等において県と指宿市主催により実施された総合防災訓練に

参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	４人
	鹿児島赤十字病院	９人
	鹿児島県赤十字血液センター	１人
	特別養護老人ホーム錦江園	１人
	計	１５人

(ｲ) 多数傷病者事故対応訓練

「鹿児島アリーナのメインアリーナで催物されていたコンサートにおいて、イベントの進行中、音響装置から出火、付近の可燃物に着火した。火災による濃煙熱気及び退避途中の転倒等により来場者に多数の負傷者が発生した。」との想定で、９月７日（金）に鹿児島アリーナにおいて鹿児島市・消防局主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	３人
	鹿児島赤十字病院	６人
	計	９人

(ｳ) 桜島火山爆発総合防災訓練(図上訓練)

「桜島の大規模爆発に対して、住民避難等の各種の災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、関係機関の認識の共有、各機関の役割・能力の確認及び相互の連携強化など災害対応能力の向上を図る。」を目的に、１１月６日（火）鹿児島県行政庁舎２階講堂においてプレーヤー、コントローラー等に分かれて実施された。

・参加者	日赤鹿児島県支部	２人

(ｴ) 九州・沖縄ブロックＤＭＡＴ実働訓練

「鹿児島県大隅地方に大雨洪水警報が発表され、種子島東方沖を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、東串良町、志布志市で震度６強を観測し、大津波警報が発表され志布志湾岸に４メートルを超える大津波が到達し、甚大な被害が発生し、人的・物的被害が拡大している。」との想定で、１１月１０日（土）に鹿児島赤十字病院ＤＭＡＴ１チームと日赤リエゾン(災害対策現地情報連絡員)が鹿児島県行政庁舎６階災害対策本部室においてＤＭＡＴ調整本部運営訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	１人
	鹿児島赤十字病院	５人
	計	６人

(ｵ) 鹿児島県国民保護共同図上訓練

「鹿児島アリーナにおいて爆破事案が発生し、また、鹿児島中央駅において、化学

剤を用いたテロが実行され、多数の死傷者が発生した。その後、鹿児島桜島フェリーターミナルにおいて爆弾を所持した立てこもり事案が発生したため、周辺の住民等を避難させる必要が生じた。」との想定で、１２月２６日（火）鹿児島県行政庁舎２階講堂においてプレーヤー、コントローラー等に分かれて実施された。

・参加者	日赤鹿児島県支部	３人

(ｶ) 桜島火山爆発総合防災訓練

「桜島の北東部及び南西部での火山性地震及び地殻変動が増加傾向を示し、噴火警戒レベル５が発表された。その後震度６強の地震が発生した。」との想定で、１月１２日（土）桜島フェリー鹿児島港及び長田中学校において実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	４人
	鹿児島赤十字病院	５人
	鹿児島県赤十字血液センター	１人
	計	１０人

(ｷ) 大型クルーズ船事故対応訓練

「錦江湾航行中のクルーズ船船内において火災が発生し、乗客・乗員に負傷者が発生。機関故障により航行不能となった。」との想定で、３月１３日（水）マリンポートかごしま及び付近海域において実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	５人
	鹿児島赤十字病院	５人
	鹿児島県赤十字血液センター	１人
	計	１１人

ウ　救護員研修

(ｱ) 鹿児島県支部救護員基礎研修

自然災害のみならず、大規模交通災害やテロ災害など災害救護を取り巻く環境が、多岐にわたってきている。このため、災害時の役割を認識し、新たな救護体制の再構築をするとともに、救護員の量的確保並びに質的向上を図ることを目的に、１６時間（２日間）カリキュラムで、鹿児島県支部救護員を対象とした基礎研修を実施した。

また、既受講者を対象に、近年の災害救護活動や日赤の救護体制について理解を深めるためのフォローアップ研修を実施した。

＜救護員基礎研修＞

・開催日時　　１日目：平成３０年９月２２日（土）９時～１７時３０分
受講者数：１４人
２日目：平成３０年１０月２７日（土）９時～１７時３０分
受講者数：１４人

・開催場所　　県赤十字会館

＜救護員フォローアップ研修＞救護員基礎研修２日目と同日開催

・開催日時　平成３０年１０月２７日（土）９時～１７時３０分
　受講者数：１５人

・開催場所　県赤十字会館

(ｲ) こころのケア研修会

災害発生時に、従来の救護活動に加えて被災者に対するこころのケアの実施方法と、救護員自身のこころのケアに関する対処方法を習得することを目的として実施した。

・開催日時　平成３０年６月１５日（金）９時～１７時
・開催場所　県赤十字会館
・受講者　１５人

(ｳ) 全国赤十字救護班研修会

災害の超急性期医療を含めた日赤救護班の強化と技術の向上を目的に開催されたもので、大規模災害発生時の初動対応のなお一層の強化が必要となるため、職員を派遣した。

・開催日程　平成３１年２月１６日（土）～１８日（月）
・開催場所　日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター他
・参加者　日赤鹿児島県支部　１人

(ｴ) 日赤災害医療コーディネート研修会

日本赤十字社災害医療コーディネーターとして、災害対策本部の在り方、本部運営組織、資機材・レイアウト、及び本部における業務について理解を深めることを目的に職員を派遣した。

・開催日程　平成３１年１月２６日（土）～２７日（日）
・開催場所　日本赤十字社本社
・参加者　鹿児島赤十字病院　１人（医師　日赤災害医療コーディネーター）
　日赤鹿児島県支部　１人（主事　日赤災害医療コーディネータースタッフ）

（４）災害救援物資の備蓄・配分

災害救援物資は、災害発生時に速やかに災害救援物資を被災者に配分できるよう支部倉庫に加え県内３６の地区・分区に常備地区を設け災害救援物資を備蓄し、迅速な配分に備えている。

災害被災者に対し、災害救護活動の一環として、原則として支給基準に基づき救援物資を配分している。

ア 災害救援物資の備蓄状況　　　　　　　　　　　　　(平成３１年３月３１日現在)

品　名 備 蓄 先	毛　布 (枚)	緊急セット (セット)	タオルケット (枚)	見舞品セット (セット)※	ブルーシート (枚)
支 部 倉 庫	2,086	445	2,294	5	764
３６常備地区	1,924	1,027	1,190	743	1,017
計	4,010	1,472	3,484	748	1,781

※「見舞品セット」は、製作中止となり補充無し、現有在庫までの備蓄。

イ 災害救援物資配分基準

災害区分 品　名	全焼・半焼・全壊・半壊・流失・床上浸水	
毛布	被災者１人につき	1　　　枚
緊急セット（タオル･携帯ラジオ・懐中電灯・風呂敷等）	被災世帯１世帯につき	1セット ※1
タオルケット	被災者１人につき	1　枚 ※2
ブルーシート	被災世帯１世帯につき	1　　　枚

(注)・この基準は非住家には適用しない。
　　・死亡者は、世帯構成員に加えない。
※１　世帯標準構成員は４人である。
※２　平成30年度より、1世帯に1枚から1人1枚に変更。

毛布

緊急セット

タオルケット

ブルーシート

ウ 災害救援物資常備地区及び配分区域　　　　　　　　（平成３１年３月３１日現在）

常備地区	配分区域	常備地区	配分区域
鹿児島市(市)	鹿児島市	南九州市(社)	南九州市
鹿屋市(社)	鹿屋市	伊佐市(社)	伊佐市
枕崎市(社)	枕崎市	姶良市(社)	加治木町、姶良町、蒲生町
阿久根市(社)	阿久根市、長島町	さつま町(社)	さつま町
出水市(社)	出水市	湧水町(社)	湧水町
指宿市(社)	指宿市	大隅(地)	東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、大崎町
西之表市(社)	西之表市	熊毛(支)	中種子町、南種子町
垂水市(社)	垂水市	大島(支)	大和村、宇検村、龍郷町
薩摩川内市(社)	薩摩川内市【川内市、樋脇町、東郷町、祁答院町、入来町】	瀬戸内町(社)	瀬戸内町
薩摩川内市上甑町(社)	薩摩川内市上甑町	喜界町(社)	喜界町
薩摩川内市下甑町(社)	薩摩川内市下甑町	徳之島町(社)	徳之島町
日置市(社)	日置市	天城町(社)	天城町
曽於市(社)	曽於市	伊仙町(社)	伊仙町
霧島市(社)【国分市】	霧島市Ⅰ【国分市、隼人町、福山町、溝辺町】	和泊町(社)	和泊町
霧島市(社)【牧園町】	霧島市Ⅱ【牧園町、横川町、霧島町】	知名町(社)	知名町
いちき串木野市(社)	いちき串木野市	与論町(社)	与論町
南さつま市(社)	南さつま市	屋久島事務所(支)	屋久島町
志布志市(社)【志布志市】	志布志市	支部直送	三島村
奄美市(社)	奄美市		十島村

※【　】内は旧市町村名。
（社）社会福祉協議会・（市）市役所・（役）役場・（地）地域振興局・（支）支庁

エ　支部及び常備地区における災害救援物資の備蓄状況

平成31年3月31日現在

	本社毛布					本社緊急セット					支部見舞品セット					(支部・本社)タオルケット					支部ブルーシート				
	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数
支　部	2,756			670	2,086	889			444	445	35			30	5	3,001			707	2,294	1,474			710	764

※配分分置の数字は、支部から直接、被災者へ配分したものと、常備地区への分置の合計。

常備地区名	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数
鹿児島市	132	20		51	101	71	12		18	65	67			18	49	99	20		19	100	53	20		15	58
鹿屋市	29	60		23	66	22	30		13	39	19			13	6	23	30		14	39	16	30		13	33
枕崎市	12			2	10	18			1	17	11			1	10	14			1	13	12			1	11
阿久根市	17			6	11	9			2	7	12			2	10	21			2	19	17			2	15
出水市	89			13	76	43			5	38	49			5	44	33	10		13	30	34			5	29
指宿市	17	10		2	25	8	6		3	11	8			2	6	8	10		2	16	10	5		2	13
西之表市	19			10	9	10			3	7	12			4	8	12			3	9	12			3	9
垂水市	45			2	43	33			1	32	23			1	22	22			2	20	24			1	23
薩摩川内市	36	10		4	42	20	6		2	24	17	5		2	20	27	20		2	45	14	10		2	22
薩摩川内市(上甑)	40			1	39	38			1	37	39			1	38	39			2	37	40			1	39
薩摩川内市(下甑)	25				25	16				16	22				22	20				20	30				30
日置市	26			3	23	38			2	36	20			1	19	29			3	26	34			2	32
曽於市	54			7	47	48			4	44	39			4	35	40			4	36	38			3	35
霧島市(国分)	36			8	28	23			5	18	25			2	23	64			8	56	26			5	21
霧島市(牧園)	21			5	16	14			3	11	11			3	8	26			5	21	14			3	11
いちき串木野市	16				16	19				19	19				19	20				20	23				23
南さつま市	91			2	89	59			3	56	59			3	56	61			5	56	61			3	58
志布志市	23			5	18	24			3	21	21			3	18	35			4	31	29			3	26
奄美市	136			74	62	62	54		44	72	94			44	50	9	130			139	50	220		227	43
南九州市	12				12	7				7	10				10	16				16	11				11
伊佐市	11	50		15	46	34	24		7	51	33	20		7	46	21	40		15	46	32	20		7	45
さつま町	17			3	14	12			3	9	12			3	9	15			3	12	14			3	11
湧水町	3				3	6				6	1				1	2				2	4				4
姶良市	9	30		6	33	5	18		5	18	5	0		3	2	5	30		5	30	5	15		4	16
大隅地区	104	10		9	105	83	6		6	83	89			6	83	81	10		7	84	85	5		9	81
熊毛地区	100			4	96	36			2	34	35			2	33	27			2	25	26			2	24
大島地区	649	10		87	572	68	54		62	60	65	8		36	37	72	90		79	83	96	108		97	107
瀬戸内町	55	60		62	53	22	36		35	23	22			22	0	31	30		35	26	23	35		35	23
喜界町	35	80		96	19	23	36		48	11	25			25	0	22	90		96	16	25	35		48	12
徳之島町	57	50		79	28	28	30		40	18	28			28	0	28	30		50	8	28	30		40	18
天城町	26	50		30	46	26	30		20	36	24			20	4	26	30		22	34	22	30		20	32
伊仙町	12	210		202	20	12	108		106	14	12			12	0	12	120		117	15	17	115		106	26
和泊町	9	20		9	20	23	12		14	21	23			14	9	16	20		14	22	11	25		17	19
知名町	39			7	32	25			7	18	22			7	15	25			16	9	24			7	17
与論町	51	10		34	27	43	12		29	26	36			26	10	38	10		33	15	33	20		33	20
屋久島事務所	57			5	52	23			1	22	22			1	21	15			1	14	21			1	20
常備地区計	2,110	680	0	866	1,924	1,051	474	0	498	1,027	1,031	33	0	321	743	1,054	720	0	584	1,190	1,014	723	0	720	1,017

※返却の数字は、破損等による支部への返却数であり、支部の補充戻入に反映される。
※常備地区間の補充も受入・配分数に計上している。

（５）救護資機材の整備

災害発生時に円滑な救護活動が行えるよう、新たに次のとおり救護資機材を整備・更新した。

ア　県支部における救護資機材の整備

・救護班要員作業着等　　上２１着、下２９着、作業帽３枚、ベルト１０本

イ　救護班資材運搬用キャリーバックの整備

・事務用品セット用２個、パソコン用１個

ウ　地区・分区における救護資機材の整備

・救援物資の輸送及び日常の情報収集活動、災害救援活動等に不可欠な救援車を整備するため、３分区にそれぞれ６０万円の補助金を交付した。

（交付先）

地区・分区名	交付額（円）
指宿市地区（山川支所）	６００，０００
伊佐市地区	６００，０００
与論町分区	６００，０００
計	１，８００，０００

エ　支部における救護資機材の整備状況

救護資機材の名称	整備状況	救護資機材の名称	整備状況
超短波無線電話 全県移動システム	1式	浄水機	1
無線装備（150MHｚ帯）	基地局(固定局)6 移動局56	発電機	7
無線装備（400MHｚ帯）	基地局1 移動局23	投光機	8
無線装置（二重免許）	移動局2	炊き出し用釜セット	6
携帯電話	6	医療セット	3
衛星電話	可搬型2 車載型1	携帯型医療セット	1
通信機器（パソコン）	1	マジックギブス	3
通信機器（ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ）	1	アンビューバッグ	3
トランシーバー	10	血圧計	8
カーナビゲーション	9	点滴台	12
救急車	支部1 病院1	寝袋	30
災害救援車	3	寝袋用マット	10
災害連絡車	3	折畳式リヤカー	4
通信指令車	1	折畳式自転車	2
患者用エアーテント	1	医療セット置き台	2
診療用エアーテント	1	輸液ポンプ	10
フレーム式拡張テント	3	簡易型心電図モニター	1
災害用テント	3	携帯型除細動器	1
担架	37	ポータブル人工呼吸器	1
担架架台	10	GPS機能付車載無線機	1

オ 地区・分区における救護資機材整備状況

平成31年3月31日現在

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫〔大〕		炊出し用釜セット		災害物資保管庫〔小〕		サーチライト			
												自動車用		公民館用	
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度
鹿児島市	鹿児島市	1	H20	5	51・54 56・60・H5							1	H1	44	H2
	谷山地域			2	52・63									16	H2
	吉田町			2	56・H4									5	H2
	桜島町			3	51・62・H13			1	H12	1	H2	1	H1	3	H2
	喜入町									1	H2			7	H2
	松元町														
	郡山町			1	H1									6	H2
鹿屋市	鹿屋市	1	H22	2	61・H5									30	H2
	輝北町			2	56・H4			1	H13	1	62	1	H1	6	H4
	串良町			2	51・62			1	H12	1	62	1	H3	7	H4
	吾平町			2	H4・H13					1	63	1	H1	5	H4
枕崎市				1	H13	1	58	1	H13						
阿久根市		1	H19					1	H13						
出水市	出水市	1	H28	2	63・H13			1	H12			1	H1	2	H2
	野田町			2	56・H4			1	H16	1	63				
	高尾野町	1	H13	2	55・H2			1	H13	1	H11	1	H3	3	H3
指宿市	指宿市	1	H16			1	H26							1	H2
	山川町	1	H30					1	H15	1	63			1	H2
	開聞町	1	H15							1	63			1	H2
西之表市		1	H15					1	H13	1	H2	1	H1		
垂水市				1	H13			1	H14	1	H2			6	H2
薩摩川内市	川内市			3	51・61・H13	1	H5	1	H15			1	H1	20	H2
	樋脇町			2	56・H4									6	H3
	入来町	1	H19	2	56・H2			1	H2	1	H12	1	H1	9	H3
	東郷町	1	H1	2	56・H5			1	H15	1	63	1	H1	6	H3
	祁答院町	1	H23	2	59・H5			1	H15	1	62			6	H3
	里村	1	H11	2	55・H3					1	63			6	H3
	上甑村	2	H14・H22	1	H3			1	H16					8	H3
	下甑村	1	H29	2	52・H1			1	H14	1	H11			2	H3
	鹿島村	H29.4下甑と合併								1	63				
日置市	東市来町	1	H28	2	54・H1			1	H15	1	63			8	H3
	伊集院町	1	H17	3	53・H1			1	H13	1	H10			5	H3
	日吉町	1	H26					1	H16					7	H3
	吹上町	1	H25					1	H12	1	H2				
曽於市	大隅町	1	H24	2	H1・H9			1	H13	1	63	1	H1	8	H4
	財部町	1	H14	2	55・H2					1	62			5	H4
	末吉町	1	H28	1	H1			1	H14	1	63	1	H1	14	H4
霧島市	国分市	1	H23					1	H16						
	溝辺町			2	54・H2					1	H2				
	横川町			1	H4			1	H16						
	牧園町			2	H2・H13	1	H7	1	H12	1	H1				
	霧島町							1	H13	1	63				
	隼人町			1	54			1	H16	1	H2				
	福山町	1	H16	1	H4					1	63				
いちき串木野市	串木野市			2	61・H5			1	H14	1	H2				
	市来町	1	H10	2	56・H4			1	H15	1	H11				
南さつま市	加世田市			1	H5	1	H24	1	H12	1	H2			1	H2
	笠沙町			1	H4			1	H14	1	62	1	H1	5	H2
	大浦町			1	H1			1	H14	1	62	1	H3	1	H2
	坊津町			2	56・H5			1	H15	1	62				
	金峰町							1	H13						

オ 地区・分区における救護資機材整備状況

平成31年3月31日現在

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫〔大〕		炊出し用釜セット		災害物資保管庫〔小〕		サーチライト			
												自動車用		公民館用	
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度
志布志市	松山町			1	H5			1	H13	1	H2			4	H4
	志布志町	1	H18					1	H15	1	62			3	H4
	有明町	1	H25					1	H12	1	62			1	H4
奄美市	名瀬市			1	63	1	H25	1	H15						
	住用村									1	H1				
	笠利町			2	54･H2			1	H16	1	H1				
南九州市	頴娃町	1	H19	2	53･H1			1	H21	1	62			7	H2
	知覧町	1	H12	2	54･H2			1	H12	1	H25	1	H3	8	H2
	川辺町	1	H12	2	53･H1	1	H12			1	62			8	H2
伊佐市	大口市	1	H18	3	51･62･H13	1	60	1	H15	1	H2	1	H1	19	H2
	菱刈町	1	H30	2	55･H2	1	H29			1	H2	1	H3	6	H4
姶良市	加治木町			2	54･H1			1	H16	1	H2				
	姶良町	1	H16	2	53･H1			1	H18	1	63				
	蒲生町	1	H18	1	H2			1	H13	1	63				
三島村		1	H3	2	56･H5							1	H3	5	H2
十島村				2	56･H5									8	H2
さつま町	宮之城町	1	H15	1	H5	1	H7								
	鶴田町	1	H12	2	53･H1			1	H14	1	63				
	薩摩町	1	H11	1	H4	1	H10	1	H13						
長島町	東町	1	H1	2	54･61					1	61	1	H3	11	H3
	長島町	1	H24	2	H1･H13			1	H12	1	61	1	H1	5	H3
湧水町	栗野町	2	H13・H22	2	55･H3	1	H10	1	H14	1	63				
	吉松町			1	H4			1	H14	1	63	1	H1		
大崎町		1	H16	2	55･H2			1	H14	1	62	1	H1	1	H4
東串良町				2	55･H2					1	62	1	H1	3	H4
錦江町	大根占町	1	H14	2	63･H13			1	H16	1	62			9	H4
	田代町			2	56･H5			1	H15	1	61	1	H1	4	H4
南大隅町	根占町	1	H12	2	55･H3			1	H14	1	61			17	H4
	佐多町			2	56･H5			1	H13	1	61				
肝付町	内之浦町	2	H20・H27	2	54･H2			1	H15	1	61				
	高山町			2	61･H5			1	H16	1	63				
中種子町										1	62				
南種子町				1	H1			1	H16	1	61	1	H1		
屋久島町	上屋久町			1	H5			2	H12	1	62				
	屋久町	1	H28					1	H16	1	63	1	H1		
大和村				2	61･H5			1	H12					7	H4
宇検村		1	H26	2	55･H3			1	H16	1	62			6	H4
瀬戸内町		1	H21	2	53･H1			1	H14	1	62			21	H4
龍郷町		2	H11・H23	1	H3	1	H25	1	H15					8	H4
喜界町				1	H1			1	H16	1	62			10	H4
徳之島町		1	H21	2	61･H5	1	H10	1	H15	1	62	1	H1		
天城町		1	H27	1	H3			1	H15	1	62				
伊仙町		1	H27	2	55･H3			1	H14	1	62			9	H4
和泊町		1	H29	1	H4			1	H14	1	62	1	H3	5	H4
知名町		1	H29	1	H2			1	H14	1	62			6	H4
与論町		1	H30	2	61･H5			1	H16	1	62	1	H3	4	H4
鹿児島															
北薩														1	H3
姶良・伊佐				2	54･H2	1	H11					1	H1	1	H4
大隅				3	53・H1	1	H6					1	H1		
熊毛				1	H3									1	H4
大島				1	62	1	H4							1	H4
屋久島事務所						1	56								
計		59		148		18		73		73		32		459	

（６）赤十字救護連絡所の医薬品等補充

自然公園財団高千穂河原支部（２か所）に赤十字救護連絡所を設置し、負傷者の手当及び関係機関への通報をお願いしている。

（７）救急用担架の配備

不特定多数の人が集合、通過する場所で急病人やけが人が発生した場合、誰でも自由に使用できるよう下記の場所に救急用担架を配備している。

○駅

鹿児島中央、鹿児島、出水、指宿、隼人、吉松

○港

鹿児島港、鹿児島新港、西之表港、名瀬港、亀徳港、和泊港、宮之浦港、垂水港、鴨池港、桜島港

○公園等

吉野公園、平川動物公園、自然公園財団高千穂河原支部、輝北うわば公園

○体育館

指宿市、枕崎市、南さつま市、出水市、伊佐市、霧島市（国分、隼人）、垂水市、曽於市

○運動場

県立野球場、県立陸上競技場、県立体育館

○神　社

霧島神宮、新田神社、護国神社

（８）海難被災者に対する救援

第十管区海上保安本部所属の巡視船に、海難被災者に配分することを目的として、救援物資を搭載している。

分置数及び配分状況は次のとおり

海難救援物資の第十管区海上保安本部巡視船備付　　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

品　　名	前年度繰越	補充数	配分・消却数	翌年度へ繰越
毛　　布	93	0	0	93
作　業　服	上 96 下 96	上 0 下 0	上 0 下 0	上 96 下 96
肌　　着	95	0	0	95
日　用　品	94	0	0	94
ス　リ　ッ　パ	95	0	0	95

※前年度繰越は、船舶及び十管本部在庫分の合計

（９）臨時救護

公的機関・団体が開催する大会、祭典、行事等に救護員を派遣した。

ア　「第１８回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」救護

(ｱ)　平成３０年８月１８日（土）　鹿児島港本港区

(ｲ)　派遣救護班１班　　　職員９人及びボランティア１２人

(ｳ)　取り扱い患者数　　　１２人

イ　「鹿児島マラソン 2019」救護

(ｱ)　平成３１年３月３日（日）　鹿児島市(救護所：仙巖園前駐車場)

(ｲ)　派遣救護班１班　　　　７人

(ｳ)　取り扱い患者数　　　２３人

ウ　式典や行事への看護師派遣

(ｱ)　延べ派遣日数　　　６日

(ｲ)　派遣看護師　　　　７人

(ｳ)　取り扱い患者数　　１人

（１０）非常炊き出し訓練の実施

町内会、学校、社会福祉協議会等の依頼により職員を派遣し、炊飯袋を使った炊き出し訓練を実施した。

・依頼件数　：２９件

・参加人数　：２，０３２人

（１１）赤十字防災セミナーの実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ起こるか分らない災害からいのちを守るためには、自身と家族を守る「自助」の力と、地域住民が協力して難局を乗り切る「共助」の力を高めることが重要である。このため「防災・減災教育」の一環として、赤十字防災セミナーを下記のとおり実施した。

回	月/日(曜)	開催地域（市町村）	実施団体	受講者数	実施内容
1	6/2(土)	鹿児島市易居町	易居町内会	２２人	災害図上訓練(ＤＩＧ)
2	7/1(日)	鹿児島市西陵	西陵東町内会	１０１人	災害への備え(講義)
3	7/5(木)	志布志市有明町	日赤志布志市地区（奉仕団）	３２人	災害への備え(講義)
4	7/7(土)	肝属郡肝付町	日赤肝付町分区（奉仕団）	８人	災害への備え(講義)
5	7/15(日)	大島郡和泊町	日赤和泊町分区（奉仕団）	４４人	災害エスノグラフィー
6	7/15(日)	大島郡知名町	日赤知名町分区（奉仕団）	８０人	災害への備え(講義)
7	9/29(土)	鹿児島市(県支部)	皇徳寺東町内会	１９人	災害図上訓練(ＤＩＧ)
8	12/11(火)	志布志市松山町	日赤志布志市地区（奉仕団）	３０人	災害への備え(講義)
9	1/30(水)	鹿児島市西田町	西田町町内会	３０人	災害図上訓練(ＤＩＧ)
10	2/16(土)	鹿児島市吉野町	吉野校区社会福祉協議会	５０人	災害への備え(講義)
11	3/17(日)	鹿児島市平川町	野屋敷小組合	３３人	災害図上訓練(ＤＩＧ)
計				４４９人	

・災害エスノグラフィー：大規模災害の被災者の経験談を通じて、過去の災害の追体験をすることで、被災の具体的なイメージをグループワークで理解する。

・災害図上訓練(ＤＩＧ)：自らが居住する地域での、災害発生の危険性や防災上の資源を把握・理解し、それを地図に明記して、個人や地域単位で予め行うことをグループワークで検討する。

（１２）死亡弔慰金の支給

自然災害や火災等により死亡した方の遺族に対し、死亡弔慰金（１人２万円）を支給した。

地区・分区名	支給月	件数	支給金額（円）
鹿児島市地区	5	1	２０，０００
曽於市地区	6	2	４０，０００
霧島市地区	9	1	２０，０００
いちき串木野市地区	１２	2	４０，０００
鹿児島市地区	１２	1	２０，０００
鹿児島市地区	1	1	２０，０００
西之表地区	1	1	２０，０００
南さつま市地区	1	1	２０，０００
鹿屋市地区	2	1	２０，０００
鹿児島地区	2	1	２０，０００
霧島市地区	2	1	２０，０００
計		１３	２６０，０００

（１３）義援金の取扱い状況

国内において発生した災害被災者を救援するため義援金の募集を行ったが、次のとおり県民の皆様から温かい善意が寄せられた。　　　　　　平成３１年３月３１日現在

義援金の名称（受付期間）	累　計	
	件数	金　額　（円）
東日本大震災災害義援金 （平成 23 年 3 月 12 日～平成 32 年 3 月 31 日）	１０，１６６	１，３８５，５９９，３７４
平成 28 年熊本地震災害義援金 （平成 28 年 4 月 15 日～平成 32 年 3 月 31 日）	１，７６０	２０３，７３６，８８７
平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金 （平成 29 年 7 月 7 日～平成 32 年 3 月 31 日）	３９０	４３，４１０，８２８
平成 30 年大阪府北部地震災害義援金 （平成 30 年 6 月 22 日～9 月 28 日）	４９	９５５,５３６
平成 30 年米原市竜巻災害義援金 （平成 30 年 7 月 6 日～9 月 28 日）	２４	８３,７９３
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金 （平成 30 年 7 月 10 日～平成 31 年 6 月 30 日）	５５９	９７，９７５，０９８
平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金 （平成 30 年 9 月 11 日～平成 31 年 9 月 30 日）	１６５	９，４７５，５８４
合　　　計	１３，１１３	１，７４１，２３７，１００

※寄せられた義援金(県支部受付分)は、全額日本赤十字社本社を通じて被災自治体に送金している。

２　看　護　師　の　養　成

救護員として救護業務に従事する看護師および医療施設で必要な看護師を養成するために、日本赤十字九州国際看護大学（福岡県宗像市）の学生に対し、日本赤十字社鹿児島県支部奨学金を貸与した。

また、鹿児島赤十字病院の奨学生４名の学生に対し、奨学金の一部を助成した。

・「日本赤十字社鹿児島県支部奨学金」貸与者　　　４名（各学年１名）

日本赤十字九州国際看護大学

授業の様子

3　救急法等の講習

県民の方々に広く安全思想を普及し、健康で幸せな生活をしていただくため、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を実施しており、平成 30 年度は次のとおり実施した。

◇各種講習の開催状況

講習種別		回数（回）	受講者数（人）
救　急　法	基　礎　講　習	24	567
	救急員養成講習	15	342
	資格継続研修	7	95
	短　期　講　習	207	13,158
	計	253	14,162
水上安全法	救助員養成講習Ⅰ	1	7
	救助員養成講習Ⅱ	1	12
	資格継続研修	1	1
	短　期　講　習	28	1,660
	計	31	1,680
健康生活支援講習	支援員養成講習	1	6
	資格継続研修	1	1
	短　期　講　習	54	1,704
	計	56	1,711
幼児安全法	支援員養成講習	8	185
	資格継続研修	2	17
	短　期　講　習	44	1,273
	計	54	1,475
合　計		394	19,028

（1）救　急　法

病気やけが、災害から自分自身を守り、急病人やけが人を正しく救助して医師に渡すまでの救命手当・応急手当の知識と技術を指導するもので、心肺蘇生・止血・包帯・固定・搬送が主な内容である。

ア　基礎講習

	実施日		対象	主　催	受講者（人）
1	4月	4日	学　生	鹿児島第一医療リハビリ専門学校（霧島市）	27
2	5月	12日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	26
3	6月	6日	職　域	鹿児島県警察学校（姶良市）	48
4	7月	7日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	17
5	7月	24日	学　生	鹿児島城西高等学校（日置市）	19
6	8月	1日	学　生	鹿児島情報高等学校（鹿児島市）	16
7	8月	4日	日赤職員	鹿児島赤十字病院（鹿児島市）	6
8	8月	10日	学　生	鹿児島第一医療リハビリ専門学校（霧島市）	23
9	8月	17日	一　般	鹿児島県社会福祉協議会（鹿児島市）	24
10	8月	23日	学　生	鹿児島県立薩摩中央高等学校（さつま町）	12
11	8月	31日	学　生	神村学園専修学校（いちき串木野市）	29
12	9月	1日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	14
13	9月	1日	日赤職員	鹿児島赤十字病院（鹿児島市）	25
14	9月	21日	一　般	鹿児島県社会福祉協議会（鹿児島市）	26
15	10月	2日	一　般	鹿児島県社会福祉協議会（鹿児島市）	33
16	10月	16日	学　生	鳳凰高等学校（南さつま市）	33
17	11月	6日	学　生	鳳凰高等学校（南さつま市）	18
18	11月	23日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	28
19	12月	5日	職　域	鹿児島県警察学校（姶良市）	59
20	1月	9日	一　般	屋久島環境文化研修センター（屋久島町）	8
21	1月	22日	学　生	国分中央高等学校（霧島市）	35
22	2月	9日	一　般	薩摩川内市社会福祉協議会（薩摩川内市）	14
23	2月	19日	学　生	鹿児島医療技術専門学校（鹿児島市）	11
24	3月	2日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	16
合計24回					567

イ　救急員養成講習

	実施日	対　象	主　　催	受講者（人）
1	5月 13 日 ～20 日	一　　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	16
2	6月 6 日 ～ 8 日	職　　域	鹿児島県警察学校(姶良市)	48
3	7月 25 日 ～27 日	学　　生	鹿児島城西高等学校（日置市）	19
4	8月 1 日 ～ 3 日	学　　生	鹿児島情報高等学校（鹿児島市）	16
5	8月 4 日 ～ 11 日	日赤職員	鹿児島赤十字病院（鹿児島市）	6
6	9月 1 日 ～ 8 日	日赤職員	鹿児島赤十字病院（鹿児島市）	25
7	10月 17 日 ～19 日	学　　生	鳳凰高等学校（南さつま市）	33
8	11月 7 日 ～ 9 日	学　　生	鳳凰高等学校（南さつま市）	18
9	11月 23 日 ～25 日	一　　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	25
10	12月 5 日 ～ 7 日	職　　域	鹿児島県警察学校（姶良市）	59
11	1月 9 日 ～ 11 日	一　　般	屋久島環境文化研修センター（屋久島町）	9
12	1月 23 日 ～25 日	学　　生	国分中央高等学校（霧島市）	33
13	2月 9 日 ～ 23 日	一　　般	薩摩川内市社会福祉協議会（薩摩川内市）	12
14	2月 19 日 ～21 日	学　　生	鹿児島医療技術専門学校（鹿児島市）	11
15	3月 3 日 ～ 10 日	一　　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	12
合計 15 回				342

ウ　「World　First　Aid　Day 2018」（ワールド　ファースト　エイドデー）の開催

9月9日（日）に、鹿児島市のオプシアミスミにおいて開催した。

このイベントは国際赤十字・赤新月社連盟が、9月の第2土曜日を「World First Aid Day」と定め救急法等普及のために世界各地で行っており、鹿児島県支部でも救急法や幼児安全法の普及を行った。

また、親子で楽しんでいただくためにキッズスペースを設け、赤十字防災ボランティアの協力のもと、子ども達に折り紙作りやバルーンアートをプレゼントした。

講習の様子

救護服を試着した子どもたち

エ　短期講習

県下各地域で207回実施し、13,158人の受講者があった。

（２）水上安全法

水の事故から生命を守るため、水による事故を未然に防ぎ、溺れている人を正しく救助するための知識や技術を指導するもので、水の事故防止・泳ぎの基本と自己保全・救助・救命手当・応急手当が主な内容である。

ア　救助員養成講習Ⅰ（プールで講習を実施）

	実施日	対　象	主　　催	受講者（人）
1	7月 14日～16日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	7
計1回				7

イ　救助員養成講習Ⅱ（海で講習を実施）

	実施日	対　象	主　　催	受講者（人）
1	9月 15日～17日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	12
計1回				12

ウ　親子で体験！「海の安全教室」の開催

水に親しみ、水の事故から命を守るために必要な知識・技術を学んでいただくことを目的に、親子で体験！「海の安全教室」の開催を８月５日（日）に鹿児島市桜島町のレインボービーチで開催した。

当日は、親子26組68人が、水の事故に遭遇した際に自分を守る方法（着衣泳、ペットボトルでの浮身）や溺者の救助方法を体験した。

レスキューボートを親子で体験

ペットボトルを浮き具に使って

エ　短期講習

県下各地域で28回実施し、1,660人の受講者があった。

（３）健康生活支援講習

高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理への備え、地域での高齢者支援などを内容としている。

ア　支援員養成講習

	実施日	対　象	主　　催	受講者（人）
1	10月　13日～14日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	6
計１回				6

イ　短期講習

県下各地域で54回実施し、1,704人の受講者があった。

（４）幼児安全法

こどもに起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気への対処、乳幼児の心肺蘇生とＡＥＤの使い方のほか、災害時の乳幼児支援などを内容としている。

ア　支援員養成講習

	実施日	対　象	主　　催	受講者（人）
1	7月　26日～ 27日	一般・教員	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	28
2	8月　23日～ 24日	教　員	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	27
3	8月　29日～ 30日	学　生	神村学園専修学校（いちき串木野市）	31
4	9月　13日～ 14日	学　生	第一幼児教育短期大学（霧島市）	13
5	11月　17日～ 18日	一　般	日赤鹿児島県支部（鹿児島市）	9
6	1月　24日～ 25日	学　生	鹿児島キャリアデザイン専門学校（鹿児島市）	31
7	2月　5日～ 7日	学　生	鳳凰高等学校（南さつま市）	18
8	3月　18日～ 19日	学　生	鹿児島女子短期大学（鹿児島市）	28
合計８回				185

イ　短期講習会

県下各地域で44回開催し、1,273人の受講者があった。

（５）救急法等指導員の在籍状況

平成３１年３月３１日現在

区　　分	支部職員（人）	施設職員（人）	ボランティア（人）	計（人）
救　急　法	8	29	74	111
水上安全法	2	9	33	44
健康生活支援講習	1	15	11	27
幼児安全法	3	9	28	40
計	14	62	146	222

4　赤十字奉仕団の活動

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

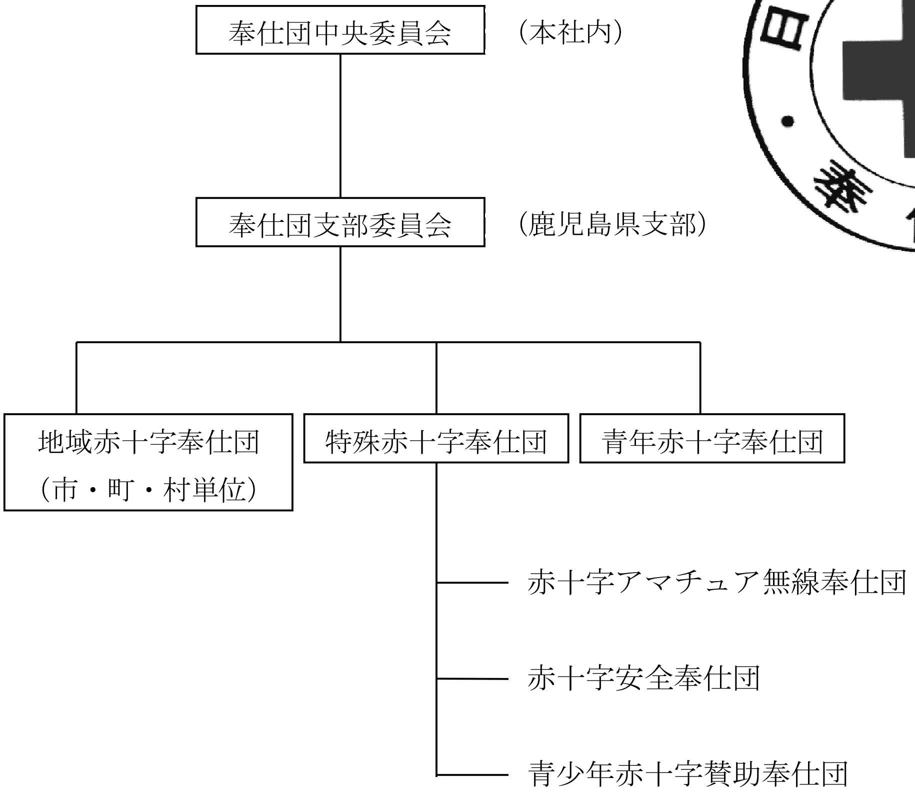
赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために地域ごとに結成された地域赤十字奉仕団と、勤労青年や学生によって結成されている青年赤十字奉仕団、及びアマチュア無線など特殊な技術を持った人達で組織されている特殊赤十字奉仕団からなっている。

当県支部の組織及び結成状況等は次のとおりとなっている。

赤十字奉仕団員の信条

一、すべての人びとのしあわせをねがい、
陰の力となって人びとに奉仕する。
一、常にくふうして人びとのために、
よりよい奉仕ができるよう努める。
一、身近な奉仕をひろげ、
すべての人びとと手をつないで、
世界の平和につくす。

（1）赤十字奉仕団組織図



（２）赤十字奉仕団及び奉仕団員数

（平成31年3月31日現在）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">区　　分</th><th rowspan="2">団数</th><th colspan="3">団　員　数</th></tr>
<tr><th>男（人）</th><th>女（人）</th><th>計（人）</th></tr>
<tr><td colspan="2">地域赤十字奉仕団</td><td>61</td><td>165</td><td>16,222</td><td>16,387</td></tr>
<tr><td colspan="2">青年赤十字奉仕団</td><td>1</td><td>4</td><td>14</td><td>18</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特殊奉仕団</td><td>赤十字アマチュア無線奉仕団</td><td>1</td><td>373</td><td>14</td><td>387</td></tr>
<tr><td>赤十字安全奉仕団</td><td>1</td><td>94</td><td>61</td><td>155</td></tr>
<tr><td>青少年赤十字賛助奉仕団</td><td>1</td><td>34</td><td>5</td><td>39</td></tr>
<tr><td colspan="2">計</td><td>65</td><td>670</td><td>16,316</td><td>16,986</td></tr>
</table>

（３）地域赤十字奉仕団結成状況

（平成31年3月31日現在）

区　別	市町村数（A）	奉仕団結成地域（B）	奉仕団数	結　成　率（B／A）（%）
市	19	16	43	84.2
町・村	24	18	18	75.0
計	43	34	61	79.0

（４）総会及び研修会等開催状況

行　事　名	会　場	期　日	主　催	参加者
青年赤十字奉仕団総会	赤十字会館	4月 8日	青年奉仕団	6人
赤十字安全奉仕団 研修会及び総会	赤十字会館	4月21日	安全奉仕団	64人
青少年赤十字賛助奉仕団総会	赤十字会館	5月19日	賛助奉仕団	15人
赤十字奉仕団鹿児島県 支部委員会	県婦人会館	5月 28日	支部委員会 支　　部	11人
赤十字奉仕団委員長会議	赤十字会館	6月26日	支　　部	50人
赤十字ボランティア リーダーシップ研修	マリンパレス かごしま・ 赤十字会館	11月15～16日	支　　部	19人
九州ブロック 赤十字奉仕団委員長会議	大分県支部	1月29～30日	大分県支部	2人

（５）地域赤十字奉仕団研修会開催状況

赤十字についての知識と奉仕団活動に必要な技術を習得し、奉仕団員の意識高揚を図ることを目的に次の１９奉仕団で開催し１，１５０人が参加した研修会に助成を行った。

昨年度から開催方法を見直し、奉仕団を２ブロックに分けて１ブロックずつ隔年で実施するとともに、近年の大規模災害発生を踏まえ「防災・減災」をテーマとした内容で実施した。

	奉仕団名	開催日	曜日	参加数	会場
1	志布志市有明	7 月 5 日	木	32	川西地区公民館
2	肝付町	7 月 7 日	土	15	肝付町福祉会館
3	徳之島町	7 月 13 日	金	110	徳之島町地域福祉センター
4	天城町	7 月 14 日	土	80	天城町防災センター
5	伊仙町	7 月 14 日	土	97	西伊仙児童館
6	和泊町	7 月 15 日	日	44	和泊町社会福祉センター
7	知名町	7 月 15 日	日	80	知名町老人福祉センター
8	日置市日吉	7 月 19 日	木	34	日吉老人福祉センター
9	曽於市末吉	7 月 20 日	金	105	そお生きいき健康センター
10	南九州市	7 月 25 日	水	35	コミュニティセンター知覧文化会館
11	志布志市志布志	8 月 8 日	水	54	志布志市健康ふれあいプラザ
12	指宿市	8 月 26 日	日	34	指宿老人福祉センター
13	鹿児島市吉田	9 月 18 日	火	50	本名コミュニティセンター
14	鹿児島市郡山	9 月 26 日	水	62	郡元中央構造改善センター
15	日置市伊集院	10 月 23 日	火	106	日置市中央公民館
16	曽於市大隅	10 月 24 日	水	30	大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館
17	鹿児島中央	11 月 7 日	水	102	鹿児島市教育総合センター
18	日置市吹上	11 月 20 日	火	65	永吉地区公民館
19	志布志市松山	12 月 11 日	火	15	泰野地区公民館

（６）地域高齢者生活支援事業の実施

地域赤十字奉仕団が高齢者世帯を訪問し、話し相手・買物・清掃援助等の生活支援活動を実施した。活動費の補助として次の２４奉仕団に１団あたり３万円を交付した。

・鹿児島市谷山　・鹿児島市吉田　・鹿児島市郡山　・薩摩川内市川内
・薩摩川内市祁答院　・日置市伊集院　・日置市吹上　・霧島市隼人
・南さつま市　・志布志市志布志　・志布志市有明　・奄美市住用
・奄美市笠利　・南九州市知覧　・姶良市姶良　・姶良市加治木
・姶良市蒲生　・さつま町　・屋久島町　・徳之島町
・天城町　・伊仙町　・和泊町　・知名町

（７）赤十字奉仕団登録一覧表

番号	奉仕団名	結成年月日	団員数		
			男	女	合計
1	鹿児島市	S25.4.1	0	20	20
2	鹿児島中央	S41.4.1	0	1000	1000
3	鹿児島市谷山	S52.4.1	0	30	30
4	鹿児島市吉田	S24.12.1	0	46	46
5	鹿児島市郡山	S24.12.1	0	30	30
6	鹿屋市	S24.12.1	0	200	200
7	出水市	H10.3.19	4	98	102
8	指宿市	S24.12.1	0	27	27
9	指宿市山川	S24.12.1	0	32	32
10	指宿市開聞	S24.12.1	0	102	102
11	西之表市	S24.12.1	0	31	31
12	薩摩川内市川内	H3.4.17	0	199	199
13	薩摩川内市樋脇	S24.12.1	0	57	57
14	薩摩川内市入来	S56.4.1	0	45	45
15	薩摩川内市東郷	S24.12.1	0	150	150
16	薩摩川内市祁答院	S24.12.1	0	56	56
17	薩摩川内市下甑	H28.4.1	10	30	40
18	日置市東市来	S24.12.1	0	50	50
19	日置市伊集院	S24.12.1	0	85	85
20	日置市日吉	S24.12.1	1	173	174
21	日置市吹上	S56.4.1	0	313	313
22	曽於市大隅	S30.4.1	16	97	113
23	曽於市財部	S38.4.1	0	89	89
24	曽於市末吉	S52.4.1	66	225	291
25	霧島市国分	S24.12.1	0	383	383
26	霧島市牧園	S24.12.1	4	111	115
27	霧島市霧島	S24.12.1	0	24	24
28	霧島市隼人	S24.12.1	0	364	364
29	いちき串木野市	S24.12.1	0	3916	3916
30	南さつま市加世田	S24.12.1	0	303	303
31	志布志市松山	S24.12.1	0	40	40
32	志布志市志布志	S56.4.1	0	550	550
33	志布志市有明	S24.12.1	0	53	53
34	奄美市名瀬	S60.9.1	0	138	138
35	奄美市住用	H元.7.1	0	146	146
36	奄美市笠利	S62.9.1	0	615	615
37	南九州市頴娃	S24.12.1	0	58	58
38	南九州市知覧	S24.12.1	0	158	158
39	南九州市川辺	S24.12.1	0	25	25
40	伊佐市	H2.10.5	58	105	163
41	姶良市姶良	S30.4.1	0	21	21
42	姶良市加治木	H7.12.20	0	13	13
43	姶良市蒲生	S24.12.1	1	89	90
44	さつま町	S24.12.1	0	18	18
45	大崎町	S56.4.1	5	70	75
46	錦江町	S24.12.1	0	41	41
47	南大隅町	S24.12.1	0	181	181
48	肝付町	S24.12.1	0	120	120
49	南種子町	S52.4.1	0	532	532
50	屋久島町	S24.12.1	0	50	50
51	大和村	H元.7.21	0	125	125
52	宇検村	H5.7.1	0	84	84
53	瀬戸内町	S62.4.28	0	435	435
54	龍郷町	S62.5.10	0	742	742
55	喜界町	H2.5.17	0	725	725
56	徳之島町	H元.4.1	0	650	650
57	天城町	H元.4.1	0	700	700
58	伊仙町	H元.7.1	0	248	248
59	和泊町	S59.8.15	0	600	600
60	知名町	S62.6.1	0	389	389
61	与論町	S62.5.1	0	215	215
地域奉仕団　計61団			165	16,222	16,387
62	青年	S30.4.1	4	14	18
青年奉仕団　計1団			4	14	18
63	安全	S54.2.17	94	61	155
64	ｱﾏﾁｭｱ無線	S50.4.1	373	14	387
65	賛助	H14.11.13	34	5	39
特殊奉仕団　計3団			501	80	581
総計 65団			670	16,316	16,986

5　青少年赤十字の活動

赤十字は、未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、優しさや思いやりの心を育むために、学校教育現場において青少年赤十字活動を推進している。

また、活動の充実のためにリーダーシップ・トレーニング・センターなどの研修会や、指導にあたる教職員の指導力向上のため、各種指導者研修会を行った。

ちかい

わたくしは
青少年赤十字の一員として
心身を強健にし
人のためと郷土社会のため
国家と世界のために
つくすことをちかいます

（1）校種別加盟状況　　　　平成３１年３月３１日現在

区　分	加盟学校(園)数	メンバー数(人)	鹿児島県内の設置状況等	
			学校(園)数	児童生徒数(人)
幼稚園	37	3,599	323	29,501
保育園	33	1,827	394	28,912
小学校	301	51,387	506	91,122
中学校	130	22,024	229	45,400
高等学校	23	10,909	89	44,614
特別支援学校	4	294	17	2,296
合　計	528	90,040	1,558	241,845

※　鹿児島県内の学校（園）数、児童生徒数(保育園を除く)は平成 30 年 4 月 6 日現在。
(休校中の学校は除く。平成３０年度「鹿児島県の教育行政」より)
保育園は、平成 31 年 3 月 14 日現在。

（２）加盟校の推移

年　度	区　　分	幼・保	小学校	中学校	高校	特別支援	小～特 小計	合計
平成30年	学校（園）数	70	301	130	23	4	458	528
	県加盟校率		59.4	56.7	25.8	23.5	54.4	
	メンバー数	5,426	51,387	22,024	10,909	294	84,614	90,040
	県メンバー率		56.4	48.5	24.5	12.8	46.1	
平成29年	学校（園）数	68	300	128	23	3	454	522
	県加盟校率		58.0	54.9	25.6	17.6	53.0	
	メンバー数	5,257	48,124	22,111	11,510	269	82,014	87,271
	県メンバー率		53.0	47.9	21.2	12.1	42.3	
平成28年	学校（園）数	67	293	125	23	2	443	510
	県加盟校率		56.1	53.2	25.6	11.8	51.3	
	メンバー数	5,281	47,308	21,105	9,162	45	77,620	82,901
	県メンバー率		52.1	44.9	17.0	2.1	40.0	

（３）会議等の参加及び開催

	行　事　名	期　日	会　場	参加者
本社	青少年赤十字支部担当者研修会	5/9（水）～5/10(木)	本社	濱田嘱託
	青少年赤十字全国指導者協議会総会	6/28（木）～6/29(金)	本社	六笠会長
	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会役員会	7/5(木)～7/6(金)	本社	室屋委員長
九州	青少年赤十字指導者協議会会長・担当者会議	11/28(水)～11/29(木)	宮崎県支部	六笠会長 濱田嘱託
支部	青少年赤十字指導者協議会総会	5/19(土)	県赤十字会館	39人

（４）研修活動

	行　　事　　名	期　　日	会　　場	参加者等
本社	青少年赤十字L･T･C 指導者養成講習会	5/25(金)～5/27(日)	国立オリンピック 記念センター	今和泉小学校　柏木　辰公
	青少年赤十字国際交流集会	11/22(木)～ 11/25(日)	国立オリンピック 記念センター	玉龍高校　是枝　美咲
	指導主事対象青少年赤十字研究会	1/9(水)～1/10(木)	本社	南さつま市教委　岩下　修一
	青少年赤十字 スタディー・センター	3/22(金)～3/26(火)	山中湖村東照館	甲南高校　田口　華鈴 鹿児島水産高校　中原　彬良 鹿児島情報高校　大庭　洋行
九州	九州ブロック青少年 赤十字指導者講習会	8/21(火)～8/23(木)	宮崎県	台風のため中止
	第６ブロック青少年 赤十字海外派遣事業	8/17(金)～8/23(木)	ベトナム 社会主義共和国	甲南高校　森﨑　百萌 指宿高校　桑鶴　海良 鹿児島情報高校 大庭洋行(指導者) 支部　松田局長、矢野課長 　　　隅野主事 鹿児島赤十字病院　田之畑看護師
支部	校長・教頭・指導主事 対象青少年赤十字研修会	6/2(土)	県赤十字会館	校長等 12 人
	園児のための青少年赤十字講習会	6/9(土)	県赤十字会館	幼・保育園の指導者　12 人
	夏季中学校L･T･C	8/6(月)～8/8(水)	霧島自然ふれあい センター	中学生 25 人
	夏季小学校L･T･C	8/9(木)～8/11(土)	霧島自然ふれあい センター	小学生 20 人
	夏季高等学校L･T･C	8/9(木)～8/11(土)	霧島自然ふれあい センター	高校生 28 人
	青少年赤十字指導者（担当者）養成講習会	8/16(木)～8/17(金)	霧島自然ふれあい センター	幼・保・学校の指導者　9 人
	中学校一日L･T･C	1/19(土)	県赤十字会館	中学生 29 人
	小学校一日L･T･C	1/26(土)	県赤十字会館	小学生 28 人
	高等学校一日L･T･C 及び春季総会	2/10(日)	県赤十字会館	高校生 17 人

※L･T･C ＝ リーダーシップ・トレーニング・センター

夏季L･T･C（小学校）活動の様子

一日L･T･C（高等学校）活動の様子

（５）加盟推進活動

青少年赤十字の加盟校を増やすために、教育事務所や未加盟校を訪問し、青少年赤十字の加盟推進を行った。

・ 学校巡回訪問　１０月１５日（月）～１０月２６日（金）
　南薩教育事務所管内４９学校・教育委員会等
　青少年赤十字賛助奉仕団員・指導者協議会役員・地域奉仕団委員長等で訪問

（６）高校協議会の活動

ア　月例会の開催（月１回）

イ　特別養護老人ホーム「錦江園」の訪問

・ 月１回　錦江園の訪問（原則　第3日曜日）
・ 錦江園の行事へのボランティアとしての参加

ウ　献血ルームでのボランティア

・ 献血ルームでの献血の呼びかけ（毎土、日曜日）
・ クリスマス献血キャンペーンへの参加

（７）機関誌の発行

・ 青少年赤十字機関紙「ふれあいの窓（第３６号)」　2,000 部
・ 高校生機関紙「光輝（第２７号)」　800 部
・ 青少年赤十字賛助奉仕団広報誌「さくらじま(第８号)」　850 部

（８）その他の青少年赤十字活動

ア　ＮＨＫ海外たすけあい街頭募金への参加

１２月　９日（日）　薩摩川内市、鹿屋市
１２月１６日（日）　姶良市、鹿児島市
１２月２２日（土）　鹿児島市
１２月２３日（日）　南さつま市　　　延べ２３３人参加

イ　病気見舞カードの作成

病院に入院されている人々に病気お見舞いカードの送付

ウ　使用済み切手・書損じはがきの回収

アジア、アフリカの医療に恵まれない人々を保健医療の面でサポートするために活用する。（公益社団法人　日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）へ送付）

エ　ペットボトル・キャップの回収

予防接種を受けられない発展途上国の子どもたちのワクチン代として活用する。

（延べ７学校　約６３５．８５ｋｇをイオン鹿児島へ（イオン鹿児島はリサイクル業者で換金後)、「認定ＮＰＯ法人　世界の子どもにワクチンを日本委員会（ＪＣＶ)」へ送金。）

オ　１円玉募金の実施

２カ国（ネパール、バヌアツ）に対し、子どもたちが衛生的な行動を身につける知識と技術の普及や、学校における災害リスクの軽減や防災の正しい知識を得る環境整備を目的とした支援を実施している。

（延べ４学校等　７２，４７９円を本社へ送金）

カ　プルタブの回収

学校で集めたプルタブをリサイクル業者で換金後、１円玉募金として、本社に送金。

（延べ６学校　１６１ｋｇ・１０，７１１円）

NHK海外たすけあい街頭募金

JRC加盟園による一円玉募金持参のようす

（９）校種別加盟校名簿

ア　保育園・幼稚園　　　　　　　　　　　　　　　　平成３1年３月３１日現在

市町村	保育園	幼稚園
鹿児島市	真砂、原良、東桜島、武 ほぴあこども、柳田、吉野 南林寺、玉里、西紫原、松原 清水、あたご、下伊敷 田上、鴨池、薬師、なぎさ	太陽の子、辻ヶ丘、鴨池しらうめ 玉里善き牧者、谷山善き牧者 鹿女短附属かもめ、鹿児島 若葉、千年、清谿、鹿女短附属すみれ ◎武
鹿屋市		信愛こどもの園、南部、いずみ
指宿市		柳和、指宿
垂水市		垂水カトリツク、江ノ島
薩摩川内市	高城、善福寺、びぼあ、大村 隈之城、青山、勝目、あさひ	青山、樋脇、祁答院 かのこ
日置市	あづま	東市来、土橋、日置小附属
曽於市	檍幼児学園	大隅中央
霧島市		カトレア、あおば
いちき串木野市		旭
南さつま市		加世田しらうめ
南九州市	頴娃	
さつま町	恵光	鶴田
長島町		◎獅子島
肝付町	あけぼの	おおぞら
屋久島町		すみれ
和泊町	わどまり	
知名町	しらゆり	すまいる、きらきら
計	３３園	３７園

◎は新規加盟。（Ｈ３０）

イ　小学校・中学校　　　　　　　　　　　　　　　　平成３1年３月３１日現在

市町村	小学校	中学校
鹿児島市	大明丘、名山、山下、城南 原良、明和、武岡、清水、福平 武、田上、広木、中洲、中名 八幡、紫原、鴨池、南、桜丘東 宇宿、向陽、伊敷、伊敷台、花野 黒神、谷山、吉野東、坂元台、清和 平川、坂元、中郡、花尾、皇徳寺 本名、宮、本城、牟礼岡、桜洲 東桜島、前之浜、石谷、春山、郡山 南方、生見、喜入、桜峰、瀬々串 西田、西紫原、◎大龍	坂元、清水、甲東、武岡 武、天保山、南、伊敷台 東桜島、黒神、谷山、谷山北 吉田北、吉田南、鴨池、伊敷 桜島、郡山、福平、桜丘 和田、吉野、星峯、喜入
鹿屋市	笠野原、田崎、西原、寿、祓川 串良、野里、南、輝北 上小原、花岡、細山田、大黒 鹿屋、大姶良、鶴峰、高須 高隈、東原、寿北、西俣 西原台、吾平、下名	鹿屋、第一鹿屋、鹿屋東 串良、上小原、吾平、輝北 花岡、大姶良、細山田、高隈 田崎
枕崎市	枕崎	枕崎、立神
阿久根市	折多、尾崎、脇本、大川 阿久根、鶴川内、田代	大川、阿久根、三笠、鶴川内
出水市	出水、西出水、米ノ津、米ノ津東 鶴荘、上場、野田、蕨島、下水流	出水、高尾野、鶴荘、米ノ津 大川内
指宿市	指宿、今和泉、利永、開聞、川尻 山川	南指宿、西指宿
西之表市	下西、安城、上西	
垂水市	柊原、協和、牛根、松ヶ崎、新城 境、水之上、垂水	垂水中央
薩摩川内市	川内、隈之城、平佐東、永利、峰山 八幡、高来、樋脇、水引 副田、藺牟田、上手 里、手打、長浜、 大馬、城上、亀山 黒木、入来、市比野	入来、祁答院 里、上甑、海陽 海星、東郷、水引
日置市	伊作田、湯田、美山 伊集院、土橋、永吉	上市来、土橋、鹿児島育英館 日吉、伊集院
曽於市	笠木、大隅南、高岡、諏訪、岩北 檍、深川、柳迫、月野、財部南 光神、恒吉、中谷、岩南 菅牟田	◎財部
霧島市	国分、溝辺、横川、安良、佐々木 中津川、霧島、富隅、小浜、福山 中福良、持松、向花、万膳、大田 宮内、小野、国分南、竹子	国分、牧園 隼人、溝辺

市町村	小学校	中学校
いちき串木野市	串木野、照島、羽島、旭、生福 冠岳、川上、神村学園初等部	串木野、串木野西、生冠、市来 神村学園中等部
南さつま市	加世田、阿多 大浦、内山田、長屋	加世田、金峰
志布志市	泰野、志布志、原田、森山、田之浦 有明、松山、◎通山、◎尾野見、	有明
奄美市	朝日、赤木名、緑が丘、手花部 佐仁、節田、崎原	小宿、崎原
南九州市	頴娃、別府、松ケ浦、田代、霜出、大丸 中福良、知覧、松原、◎手蓑、◎九玉	青戸、知覧、川辺
伊佐市	大口東、羽月、曽木、羽月西 本城、牛尾、菱刈	
姶良市	三船、北山、加治木、帖佐 漆、西浦、蒲生	山田
三島村	三島、大里、竹島、片泊	三島、大里、竹島、片泊
十島村	悪石島、中之島、平島 諏訪瀬島、宝島、口之島	悪石島、中之島、平島 諏訪瀬島、宝島、口之島
さつま町	流水、鶴田、永野 柏原、求名、中津川	鶴田、山崎、◎宮之城
長島町	鷹巣、川床、城川内、獅子島	川床、獅子島、長島、平尾、鷹巣
湧水町	上場	栗野、吉松
大崎町	大丸、大崎、中沖	
東串良町	柏原	
錦江町	神川、◎大原	田代、錦江
南大隅町	神山、佐多	根占、第一佐多
肝付町	波野、内之浦、◎国見	
南種子町	中平、花峰、茎南、大川、 平山、長谷	
屋久島町	金岳、八幡	金岳
大和村	大棚、今里、大和	大和
宇検村	名柄	田検、名柄
瀬戸内町	薩川、諸鈍、伊子茂 与路、阿木名	諸鈍、◎伊子茂 阿木名、与路
龍郷町	龍郷、円、龍瀬、赤徳	赤徳
喜界町		喜界
徳之島町	亀津、花徳、母間、神之嶺、 手々、山、尾母	井之川、亀津、東天城、手々、山、尾母
天城町	天城、兼久、西阿木名	西阿木名、北
伊仙町	馬根	面縄
和泊町	大城、内城、国頭、和泊	城ヶ丘、和泊
知名町	住吉、下平川、知名、上城、田皆	田皆、知名
与論町	那間、与論、茶花	与論
計	３０１校	１３０校

◎は新規加盟（Ｈ３０）

ウ　高等学校・特別支援学校　　平成３１年３月３１日現在

市町村	高等学校
鹿児島市	鹿児島玉龍、鹿児島実業、鹿児島 鹿児島情報、鹿児島女子、甲南 樟南、武岡台
鹿屋市	鹿屋養護学校
枕崎市	鹿児島水産
出水市	出水中央
指宿市	指宿、◎指宿養護学校
日置市	鹿児島育英館、鹿児島城西
霧島市	国分中央、福山
いちき串木野市	神村学園
南さつま市	鳳凰、加世田常潤、南薩養護学校
志布志市	尚志館
南九州市	薩南工業
さつま町	薩摩中央
南大隅町	南大隅
中種子町	中種子養護学校
与論町	与論
計	２７校

高校２３校・特別支援学校４校
◎は新規加盟（Ｈ３０）

６ 国　　際　　活　　動

世界には、現在１９１の国々に、赤十字社や赤新月社等があり、日本赤十字社は、その一員として、ジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟及び各国の赤十字社や赤新月社と連携を取りあって、紛争や自然災害などで苦しんでいる人々に対する緊急救援・復興支援から長期にわたる人道ニーズへの取組みまで、長期にわたり支援を行っている。

（１）青少年赤十字海外派遣事業

日本赤十字社が行う国際活動や開発協力等を体験するとともに、海外の青少年赤十字メンバーとの交流を通じ、広く国際理解・親善を深めることを目的として、青少年赤十字メンバー及び指導者をベトナムに派遣した。(団長県：鹿児島県)

８月１７日（金）～２３日（木）

高校生メンバー２人、指導者１人、支部職員３人、看護師１人が参加

・九州ブロック国際活動所要額　４，９２３千円(内､本県支部分担額615千円)

「マングローブ」植林の様子

ベトナム青少年赤十字との交流の様子

（２）「ＮＨＫ海外たすけあい」寄附金募集

１２月１日から２５日まで、日本放送協会(NHK)及び社会福祉法人ＮＨＫ厚生文化事業団との共催により「第３６回ＮＨＫ海外たすけあい」キャンペーンを実施した。

県内７ヵ所で実施した街頭募金では、総額４５７，８６８円、県全体で４，０６６，２１８円の温かい善意が寄せられた。

街頭募金の様子（天文館）　　NHK 鹿児島児童合唱団によるコンサートも大好評

（３）海外救援金の取扱い状況

平成３１年３月３１日現在

救援金の名称（受付期間）	累　計	
	件　数	金　額　（円）
中東人道危機救援金 （平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日）	3	１５，３１３
バングラデシュ南部避難民救援金 （平成 29 年 9 月 22 日～平成 32 年 3 月 31 日）	1	５，７１５
2018 年インドネシア・ロンボク島地震救援金 （平成 30 年 8 月 22 日～11 月 30 日）	1	３,４３１
2018 年インドネシア・スラウェシ島地震救援金 （平成 30 年 10 月 3 日～11 月 30 日）	2	３,３５１
2019 年モザンビークサイクロン救援金 （平成 31 年 3 月 25 日～6 月 30 日）	0	0
合　　計	7	２７，８１０

（４）その他

ア　外国からの引揚者に対する援護

中国からの本県永住帰国者に対し長年の苦労に報いるため、援護金及び援護品を支給しているが、平成３０年度の該当は無かった。

イ　安否調査

赤十字では、戦争その他の事故により海外で消息を絶った人の動静を調査しているが、本県支部における平成３０年度の取り扱いは無かった。

７　広　報　活　動

赤十字に対する県民の理解と協力を促進するため、５月の会員増強運動月間を中心に、イベントの活用、チラシや機関紙の配布、地区・分区の協力を通じた地域住民への広報を行ったほか、各地区・分区、奉仕団、青少年赤十字加盟校などへ視聴覚資材の貸出しを行い、赤十字思想の普及に役立ててもらった。

（１）５月の会員増強運動月間広報

ア　情報メディアによる広報

県内全地区・分区協力の下、平成３０年５月１日～６月３０日までの２カ月間に渡り、民放テレビ２局（１５秒スポット）、民放ラジオ１局（２０秒スポット）による放送を実施し、情報メディアを活用した県民への周知に努めた。また、天文館に設置される大型電子掲示板（プレミ・ビジョン）による放映を併せて行った。

イ　「赤十字レッドライトアッププロジェクト２０１８」の実施

株式会社山形屋にご協力をいただき、５月１日から５月３１日までの期間、建物を赤十字の赤色にライトアップし、赤十字運動月間の周知及び「人道」の理解促進に努めた。また、同施設に赤十字活動資金協力呼びかけの懸垂幕を掲出した。

ウ　啓発活動

平成３０年５月２日、天文館地域において、リーフレット・ティッシュの配布活動を行い、赤十字運動月間の啓発に努めた。

エ　奄美市地区の広報

奄美市地区において、５月会員増強運動月間期間中、地元ＦＭラジオでの広報を行い、赤十字活動資金への協力を呼びかけた。

（２）各種イベント等の活用による広報

ア　「キッズ未来フェスタ」イベントへの出展

イオンモール鹿児島駐車場にて行われた「キッズ未来フェスタ」イベント会場において、小学生以下を対象とした災害救護体験ブースを出展し、保護者共に赤十字活動についてご理解をいただく取り組みを行った。

イ　社会福祉大会での広報

各市町村社会福祉協議会主催の「社会福祉大会」において、非常食炊き出し、事業紹介パネル等の展示を行い、赤十字活動の周知に努めた。

（３）「私たちは、忘れない。」～防災・減災プロジェクト～　パネル展

日赤会館において、東日本大震災および熊本地震の災害関連写真等を展示し、過去の大規模災害の風化防止や来館者の防災・減災意識の向上と赤十字事業に対する理解促進を図った。

（４）見学誘致・出前講座による広報

地域住民や団体等の研修視察場所として県支部の倉庫等を見学いただく誘致活動や出前講座により日赤県支部の事業内容及び会費の使途等についての理解促進に努めた。当年度は約１，６００名に受講いただいた。

（５）刊行物による広報

◆支部発行◆

機関紙「赤十字かごしま」	(年２回)	６５，０００部
赤十字会員増強運動月間用チラシ	(年１回)	３１５，０００部
講習パンフレット	(年１回)	２０,０００部
事業年報	(年１回)	６８０部
事業計画	(年１回)	２００部
各種講習計画	(年１回)	５,０００部
ポスター	(年１回)	１,８２０部

◆本社発行◆

赤十字新聞	(月　刊)	２１,２００部
パンフレット	(年１回)	１１,０００部

（６）インターネットによる広報

ホームページを活用して、赤十字事業について広く県民各層に紹介した。

８　赤　十　字　大　会

（１）全国赤十字大会

平成３０年５月１６日（水）日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席のもと、東京明治神宮会館で開催され、本県支部からは２６人が出席した。

（２）九州八県赤十字大会

平成３０年１１月８日（木）日本赤十字社名誉副総裁寛仁親王妃殿下のご臨席のもと、熊本県立劇場（熊本市）において開催され、本県支部からは６３人が出席した。

・本県の受章（彰）者件数

金色有功章　３件、銀色有功章　１３件、日本赤十字社社長感謝状　７件

（３）鹿児島県赤十字有功会総会

有功章等受章(彰)者(社)で組織されている鹿児島県赤十字有功会総会は、会員等５３人の参加により、平成３０年７月２５日（水）にマリンパレスかごしまにて開催された。

・総　　会　平成２９年度事業報告、同収支決算説明並びに平成３０年度事業計画、同収支予算が提案され、双方ともに、原案どおり承認された。
また、役員改選に基づき、新理事として赤塚典久様、有馬正治様が選出され、新会長には、赤塚典久様が選出された。

・記念講演　「西郷南洲翁と西南戦争」
鹿児島市立西郷南洲顕彰館
館長　　徳　永　和　喜　氏

平成 30 年全国赤十字大会

有功会総会における記念講演の様子

９　会　員　増　強　運　動

赤十字の行う各種事業の財源は、県民からの会費（会費や寄付金）によって支えられており、その増強及び遺贈・相続財産による寄付の普及啓発に努めた。さらに赤十字サポーター（継続的な日赤活動資金の納入に加え、日赤の活動に積極的に協力いただける企業・団体）の募集活動を行った。

また、人道・博愛の赤十字思想の普及と会員の増強を図るため、５月を会費増強運動月間として、県下一斉に展開した。

※継続的な赤十字事業の支援団体「赤十字サポーター」として３社を認定した。また、新たに「赤十字災害救護サポーター制度」を創設した。

（１）平成３０年度会費募集状況及び過去５か年間の推移

区分／年度	目標額（千円）		実績額（円）	達成率（%）
平成 26 年度	一般会費	238,000	247,325,952	103.9
	法人会費	32,000	16,913,259	52.9
	計	270,000	264,239,211	97.9
平成 27 年度	一般会費	238,000	221,744,849	93.2
	法人会費	32,000	19,509,961	61.0
	計	270,000	241,254,810	89.4
平成 28 年度	一般会費	238,000	205,286,166	86.3
	法人会費	32,000	17,492,682	54.7
	計	270,000	222,778,848	82.5
平成 29 年度	一般会費	233,000	238,171,445	102.2
	法人会費	32,000	19,032,150	59.5
	計	265,000	257,203,595	97.1
平成 30 年度	一般会費	233,000	196,675,659	84.4
	法人会費	32,000	17,608,507	55.0
	計	265,000	214,284,166	80.9

（２）平成３０年度　地区･分区別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）

地区・分区	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
鹿児島市	94,591,000	51,099,895	54.0%
鹿児島地域	88,010,000	45,710,445	51.9%
吉田地域	1,497,500	1,115,900	74.5%
桜島地域	510,000	642,200	125.9%
松元地域	1,999,500	1,119,500	56.0%
郡山地域	1,009,500	901,750	89.3%
喜入地域	1,564,500	1,610,100	102.9%
鹿屋市	15,523,500	10,070,946	64.9%
鹿屋地域	12,284,000	6,619,446	53.9%
輝北支所	505,000	595,500	117.9%
串良支所	1,799,000	1,612,500	89.6%
吾平支所	935,500	1,243,500	132.9%
枕崎市	3,340,500	3,277,000	98.1%
阿久根市	3,085,000	3,254,257	105.5%
出水市	7,741,500	7,267,813	93.9%
出水地域	5,374,000	4,437,812	82.6%
野田支所	590,500	1,020,000	172.7%
高尾野支所	1,777,000	1,810,001	101.9%
指宿市	6,180,500	6,451,350	104.4%
指宿地域	4,043,000	3,827,850	94.7%
山川支所	1,324,000	1,620,000	122.4%
開聞支所	813,500	1,003,500	123.4%
西之表市	2,488,000	1,688,622	67.9%
垂水市	2,330,500	2,663,110	114.3%
薩摩川内市	13,947,000	14,844,298	106.4%
川内分区	10,209,000	10,475,260	102.6%
樋脇分区	984,500	1,001,500	101.7%
入来分区	720,500	840,558	116.7%
東郷分区	704,500	940,000	133.4%
祁答院分区	507,500	626,330	123.4%
上甑分区	403,500	533,750	132.3%
下甑分区	417,500	426,900	102.3%
日置市	6,670,000	7,781,315	116.7%
東市来分区	1,594,000	1,983,925	124.5%
伊集院分区	3,191,000	3,458,390	108.4%
日吉分区	683,500	925,500	135.4%
吹上分区	1,201,500	1,413,500	117.6%
曽於市	5,323,500	5,787,144	108.7%
大隅分区	1,550,500	1,663,501	107.3%
財部分区	1,232,500	1,518,001	123.2%
末吉分区	2,540,500	2,605,642	102.6%
霧島市	18,718,000	14,743,873	78.8%
国分地域	8,485,500	5,891,174	69.4%
隼人分室	5,610,000	3,503,697	62.5%
溝辺分室	1,189,500	1,350,501	113.5%
横川分室	665,000	703,500	105.8%
牧園分室	1,175,500	1,209,001	102.8%
霧島分室	747,500	1,122,000	150.1%
福山分室	845,000	964,000	114.1%
いちき串木野市	4,134,000	4,711,500	114.0%
南さつま市	5,104,000	6,833,996	133.9%
加世田地域	3,060,500	3,931,095	128.4%
笠沙支所	397,000	649,400	163.6%
大浦支所	300,000	453,000	151.0%
坊津支所	458,000	591,500	129.1%
金峰支所	888,500	1,209,001	136.1%
志布志市	4,715,500	4,308,002	91.4%
志布志地域	2,615,500	1,974,201	75.5%
松山支所	561,000	745,500	132.9%
有明支所	1,539,000	1,588,301	103.2%
奄美市	6,751,500	2,358,927	34.9%
名瀬地域	5,911,500	1,254,427	21.2%
笠利分区	840,000	1,104,500	131.5%
南九州市	5,179,500	6,437,902	124.3%
頴娃分区	1,697,000	2,181,400	128.5%
知覧分区	1,666,500	1,971,002	118.3%
川辺分区	1,816,000	2,285,500	125.9%

地区・分区	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
伊佐市	4,086,500	4,634,251	113.4%
大口分区	2,907,500	3,400,750	117.0%
菱刈地域	1,179,000	1,233,501	104.6%

姶良市	10,975,000	6,864,590	62.5%
姶良地域	6,794,000	3,323,840	48.9%
加治木支所	3,252,000	2,432,650	74.8%
蒲生支所	929,000	1,108,100	119.3%
小計	220,885,000	165,078,791	74.7%

三島村	67,000	84,700	126.4%
十島村	135,000	135,300	100.2%
小計	202,000	220,000	108.9%

さつま町	3,229,000	3,795,004	117.5%
小計	3,229,000	3,795,004	117.5%

長島町	1,427,500	1,684,000	118.0%
小計	1,427,500	1,684,000	118.0%

湧水町	1,457,500	1,666,501	114.3%
小計	1,457,500	1,666,501	114.3%

大崎町	2,042,500	1,923,001	94.1%
小計	2,042,500	1,923,001	94.1%

東串良町	923,000	1,141,604	123.7%
錦江町	1,125,500	1,497,500	133.1%
南大隅町	1,165,000	1,528,000	131.2%
肝付町	2,317,500	2,788,059	120.3%
小計	5,531,000	6,955,163	125.7%

中種子町	1,237,500	1,330,000	107.5%
南種子町	924,000	587,000	63.5%
屋久島町	2,072,000	1,963,420	94.8%
小計	4,233,500	3,880,420	91.7%

大和村	240,500	267,000	111.0%
宇検村	286,500	424,400	148.1%
瀬戸内町	1,461,500	772,820	52.9%
龍郷町	854,500	914,050	107.0%
喜界町	1,104,500	1,170,000	105.9%
徳之島町	1,641,000	2,152,198	131.2%
天城町	866,500	1,141,450	131.7%
伊仙町	946,000	720,270	76.1%
和泊町	988,500	993,600	100.5%
知名町	880,000	1,051,300	119.5%
与論町	722,500	799,801	110.7%
小計	9,992,000	10,406,889	104.2%

市地区計	220,885,000	165,078,791	74.7%
郡地区計	28,115,000	30,530,978	108.6%
市郡地区計	249,000,000	195,609,769	78.6%

支部	18,647,397
地区ＤＭ	9,574,229
地区送納書	184,165,320
本社	1,897,220
合計	214,284,166

（３）平成３０年度　地区･分区別社資納入状況一覧表（対前年度比較）

地区・分区	平成30年度（円）	平成29年度（円）	対前年（%）
鹿児島市	51,099,895	50,083,557	102.0%
鹿児島地域	45,710,445	44,537,277	102.6%
吉田地域	1,115,900	1,123,230	99.3%
桜島地域	642,200	672,200	95.5%
松元地域	1,119,500	1,171,100	95.6%
郡山地域	901,750	924,050	97.6%
喜入地域	1,610,100	1,655,700	97.2%
鹿屋市	10,070,946	10,184,041	98.9%
鹿屋地域	6,619,446	6,618,840	100.0%
輝北支所	595,500	620,200	96.0%
串良支所	1,612,500	1,671,001	96.5%
吾平支所	1,243,500	1,274,000	97.6%
枕崎市	3,277,000	3,360,098	97.5%
阿久根市	3,254,257	3,463,102	94.0%
出水市	7,267,813	12,035,536	60.4%
出水地域	4,437,812	9,310,536	47.7%
野田支所	1,020,000	1,019,500	100.0%
高尾野支所	1,810,001	1,705,500	106.1%
指宿市	6,451,350	6,719,000	96.0%
指宿地域	3,827,850	4,056,500	94.4%
山川支所	1,620,000	1,643,500	98.6%
開聞支所	1,003,500	1,019,000	98.5%
西之表市	1,688,622	1,872,509	90.2%
垂水市	2,663,110	2,742,750	97.1%
薩摩川内市	14,844,298	15,219,179	97.5%
川内分区	10,475,260	10,706,414	97.8%
樋脇分区	1,001,500	1,016,000	98.6%
入来分区	840,558	851,500	98.7%
東郷分区	940,000	1,016,000	92.5%
祁答院分区	626,330	627,392	99.8%
上甑分区	533,750	541,673	98.5%
下甑分区	426,900	460,200	92.8%
日置市	7,781,315	7,873,100	98.8%
東市来分区	1,983,925	2,007,101	98.8%
伊集院分区	3,458,390	3,485,499	99.2%
日吉分区	925,500	958,000	96.6%
吹上分区	1,413,500	1,422,500	99.4%
曽於市	5,787,144	6,073,004	95.3%
大隅分区	1,663,501	1,763,501	94.3%
財部分区	1,518,001	1,656,501	91.6%
末吉分区	2,605,642	2,653,002	98.2%
霧島市	14,743,873	14,117,678	104.4%
国分地域	5,891,174	5,698,351	103.4%
隼人分室	3,503,697	3,599,225	97.3%
溝辺分室	1,350,501	1,255,001	107.6%
横川分室	703,500	730,000	96.4%
牧園分室	1,209,001	1,255,001	96.3%
霧島分室	1,122,000	633,100	177.2%
福山分室	964,000	947,000	101.8%
いちき串木野市	4,711,500	4,759,660	99.0%
南さつま市	6,833,996	7,092,094	96.4%
加世田地域	3,931,095	4,102,006	95.8%
笠沙支所	649,400	679,700	95.5%
大浦支所	453,000	457,500	99.0%
坊津支所	591,500	618,000	95.7%
金峰支所	1,209,001	1,234,888	97.9%
志布志市	4,308,002	4,448,750	96.8%
志布志地域	1,974,201	2,057,649	95.9%
松山支所	745,500	730,000	102.1%
有明支所	1,588,301	1,661,101	95.6%
奄美市	2,358,927	2,702,655	87.3%
名瀬地域	1,254,427	1,591,955	78.8%
笠利分区	1,104,500	1,110,700	99.4%
南九州市	6,437,902	6,548,301	98.3%
頴娃分区	2,181,400	2,196,300	99.3%
知覧分区	1,971,002	2,017,501	97.7%
川辺分区	2,285,500	2,334,500	97.9%

地区・分区	平成30年度（円）	平成29年度（円）	対前年（%）
伊佐市	4,634,251	4,759,401	97.4%
大口分区	3,400,750	3,479,400	97.7%
菱刈地域	1,233,501	1,280,001	96.4%
姶良市	6,864,590	7,178,127	95.6%
姶良地域	3,323,840	3,416,327	97.3%
加治木支所	2,432,650	2,672,800	91.0%
蒲生支所	1,108,100	1,089,000	101.8%
小計	165,078,791	171,232,542	96.4%
三島村	84,700	71,681	118.2%
十島村	135,300	133,500	101.3%
小計	220,000	205,181	107.2%
さつま町	3,795,004	3,937,803	96.4%
小計	3,795,004	3,937,803	96.4%
長島町	1,684,000	1,747,170	96.4%
小計	1,684,000	1,747,170	96.4%
湧水町	1,666,501	1,676,001	99.4%
小計	1,666,501	1,676,001	99.4%
大崎町	1,923,001	1,975,500	97.3%
小計	1,923,001	1,975,500	97.3%
東串良町	1,141,604	1,171,193	97.5%
錦江町	1,497,500	1,534,500	97.6%
南大隅町	1,528,000	1,353,700	112.9%
肝付町	2,788,059	2,902,315	96.1%
小計	6,955,163	6,961,708	99.9%
中種子町	1,330,000	1,338,500	99.4%
南種子町	587,000	604,700	97.1%
屋久島町	1,963,420	2,142,719	91.6%
小計	3,880,420	4,085,919	95.0%
大和村	267,000	284,500	93.8%
宇検村	424,400	425,400	99.8%
瀬戸内町	772,820	919,182	84.1%
龍郷町	914,050	856,000	106.8%
喜界町	1,170,000	1,231,500	95.0%
徳之島町	2,152,198	2,172,809	99.1%
天城町	1,141,450	1,119,505	102.0%
伊仙町	720,270	686,358	104.9%
和泊町	993,600	1,107,800	89.7%
知名町	1,051,300	1,123,000	93.6%
与論町	799,801	791,400	101.1%
小計	10,406,889	10,717,454	97.1%
市地区計	165,078,791	171,232,542	96.4%
郡地区計	30,530,978	31,306,736	97.5%
市郡地区計	195,609,769	202,539,278	96.6%
支部	18,647,397	54,664,317	34.1%
地区DM	9,574,229	8,640,890	110.8%
地区送納書	184,165,320	191,893,468	96.0%
本社	1,897,220	2,004,920	94.6%
合計	214,284,166	257,203,595	83.3%

（４）平成３０年度地区・分区別会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						平成30年度件数	平成29年度件数	増減
	個人					法人			
	500円以上1,000円未満	1,000円以上2,000円未満	2,000円以上10,000円未満	10,000円以上	計 A	B	A+B=C	D	C-D
鹿児島市	59,667	401	108	97	60,273	96	60,369	66,308	-5,939
鹿児島地域	51,771	375	103	94	52,343	93	52,436	57,854	-5,418
吉田地域	1,252	5	1	1	1,259	0	1,259	1,500	-241
桜島地域	1,272	0	1	0	1,273	0	1,273	1,316	-43
松元地域	1,436	0	0	0	1,436	1	1,437	1,672	-235
郡山地域	1,505	10	1	0	1,516	1	1,517	1,550	-33
喜入地域	2,431	11	2	2	2,446	1	2,447	2,416	31
鹿屋市	16,031	290	55	16	16,392	104	16,496	16,876	-380
鹿屋地域	10,254	268	55	15	10,592	100	10,692	10,858	-166
輝北支所	1,161	15	0	0	1,176	0	1,176	1,222	-46
串良支所	3,209	7	0	0	3,216	1	3,217	3,323	-106
吾平支所	1,407	0	0	1	1,408	3	1,411	1,473	-62
枕崎市	5,979	43	1	4	6,027	23	6,050	6,200	-150
阿久根市	6,225	6	7	1	6,239	9	6,248	6,517	-269
出水市	11,743	326	15	13	12,097	38	12,135	12,244	-109
出水地域	7,107	214	12	8	7,341	27	7,368	7,582	-214
野田支所	1,284	103	3	2	1,392	6	1,398	1,395	3
高尾野支所	3,352	9	0	3	3,364	5	3,369	3,267	102
指宿市	11,244	319	19	6	11,588	21	11,609	11,845	-236
指宿地域	6,437	101	18	6	6,562	21	6,583	6,753	-170
山川支所	2,800	218	1	0	3,019	0	3,019	3,054	-35
開聞支所	2,007	0	0	0	2,007	0	2,007	2,038	-31
西之表市	2,843	52	2	1	2,898	7	2,905	3,262	-357
垂水市	5,199	1	1	1	5,202	6	5,208	5,377	-169
薩摩川内市	25,918	234	7	19	26,178	66	26,244	26,856	-612
川内分区	18,036	2	5	14	18,057	60	18,117	18,539	-422
樋脇分区	1,669	43	1	4	1,717	0	1,717	1,799	-82
入来分区	1,589	29	1	0	1,619	2	1,621	1,652	-31
東郷分区	1,792	31	0	1	1,824	1	1,825	1,869	-44
祁答院分区	1,204	2	0	0	1,206	3	1,209	1,232	-23
上甑分区	795	117	0	0	912	0	912	857	55
下甑分区	833	10	0	0	843	0	843	908	-65
日置市	15,019	118	19	3	15,159	0	15,159	15,427	-268
東市来分区	3,917	0	1	2	3,920	0	3,920	3,985	-65
伊集院分区	6,548	87	14	0	6,649	0	6,649	6,786	-137
日吉分区	1,775	18	0	1	1,794	0	1,794	1,844	-50
吹上分区	2,779	13	4	0	2,796	0	2,796	2,812	-16
曽於市	10,415	106	18	5	10,544	18	10,562	11,388	-826
大隅分区	2,886	41	0	0	2,927	5	2,932	3,435	-503
財部分区	2,825	1	5	0	2,831	8	2,839	3,029	-190
末吉分区	4,704	64	13	5	4,786	5	4,791	4,924	-133
霧島市	25,231	232	37	6	25,506	63	25,569	25,817	-248
国分地域	9,991	94	20	2	10,107	34	10,141	10,182	-41
隼人分室	6,314	50	13	3	6,380	10	6,390	6,422	-32
溝辺分室	2,261	0	0	1	2,262	9	2,271	2,298	-27
横川分室	1,381	12	0	0	1,393	1	1,394	1,430	-36
牧園分室	2,240	72	2	0	2,314	2	2,316	2,386	-70
霧島分室	1,210	4	0	0	1,214	3	1,217	1,243	-26
福山分室	1,834	0	2	0	1,836	4	1,840	1,856	-16
いちき串木野市	8,046	617	7	2	8,672	0	8,672	8,813	-141
南さつま市	9,307	1,806	28	4	11,145	47	11,192	11,467	-275
加世田地域	4,435	1,439	6	3	5,883	39	5,922	6,021	-99
笠沙支所	743	228	17	0	988	3	991	1,058	-67
大浦支所	762	66	3	0	831	0	831	847	-16
坊津支所	1,055	54	0	1	1,110	0	1,110	1,160	-50
金峰支所	2,312	19	2	0	2,333	5	2,338	2,381	-43
志布志市	7,255	46	8	4	7,313	53	7,366	7,673	-307
志布志地域	3,587	19	2	2	3,610	16	3,626	3,771	-145
松山支所	1,259	12	2	0	1,273	14	1,287	1,320	-33
有明支所	2,409	15	4	2	2,430	23	2,453	2,582	-129
奄美市	3,064	17	38	3	3,122	73	3,195	3,405	-210
名瀬地域	1,200	17	37	2	1,256	68	1,324	1,484	-160
笠利分区	1,864	0	1	1	1,866	5	1,871	1,921	-50

（４）平成３０年度地区・分区別会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						平成30年度件数	平成29年度件数	増減
	個人					法人			
	500円以上1,000円未満	1,000円以上2,000円未満	2,000円以上10,000円未満	10,000円以上	計 A	B	A+B=C	D	C-D
南九州市	8,733	1,225	8	7	9,973	2	9,975	10,145	-170
頴娃分区	*672*	*1,166*	*6*	*4*	*1,848*	*0*	*1,848*	*1,864*	*-16*
知覧分区	*3,590*	*13*	*0*	*3*	*3,606*	*2*	*3,608*	*3,704*	*-96*
川辺分区	*4,471*	*46*	*2*	*0*	*4,519*	*0*	*4,519*	*4,577*	*-58*
伊佐市	7,832	210	8	4	8,054	10	8,064	8,593	-529
大口分区	*5,577*	*128*	*4*	*4*	*5,713*	*10*	*5,723*	*6,165*	*-442*
菱刈地域	*2,255*	*82*	*4*	*0*	*2,341*	*0*	*2,341*	*2,428*	*-87*
姶良市	9,607	734	21	9	10,371	26	10,397	10,799	-402
姶良地域	*3,914*	*526*	*14*	*5*	*4,459*	*16*	*4,475*	*4,678*	*-203*
加治木支所	*3,524*	*205*	*7*	*4*	*3,740*	*10*	*3,750*	*4,005*	*-255*
蒲生支所	*2,169*	*3*	*0*	*0*	*2,172*	*0*	*2,172*	*2,116*	*56*
小計	249,358	6,783	407	205	256,753	662	257,415	269,012	-11,597
三島村	169	0	0	0	169	0	169	72	97
十島村	36	77	8	1	122	1	123	130	-7
小計	205	77	8	1	291	1	292	202	90
さつま町	6,775	206	5	1	6,987	5	6,992	7,306	-314
小計	6,775	206	5	1	6,987	5	6,992	7,306	-314
長島町	2,888	0	0	2	2,890	3	2,893	2,934	-41
小計	2,888	0	0	2	2,890	3	2,893	2,934	-41
湧水町	3,331	1	0	0	3,332	0	3,332	3,352	-20
小計	3,331	1	0	0	3,332	0	3,332	3,352	-20
大崎町	3,168	329	0	1	3,498	0	3,498	3,566	-68
小計	3,168	329	0	1	3,498	0	3,498	3,566	-68
東串良町	1,919	21	0	0	1,940	18	1,958	1,983	-25
錦江町	2,995	0	0	0	2,995	0	2,995	3,060	-65
南大隅町	3,054	1	0	0	3,055	0	3,055	2,691	364
肝付町	4,981	110	1	2	5,094	15	5,109	5,196	-87
小計	12,949	132	1	2	13,084	33	13,117	12,930	187
中種子町	2,440	0	0	0	2,440	5	2,445	2,459	-14
南種子町	1,068	20	0	2	1,090	2	1,092	1,147	-55
屋久島町	3,734	65	6	0	3,805	0	3,805	4,180	-375
小計	7,242	85	6	2	7,335	7	7,342	7,786	-444
大和村	534	0	0	0	534	0	534	569	-35
宇検村	661	77	2	1	741	0	741	739	2
瀬戸内町	1,393	38	0	0	1,431	8	1,439	1,782	-343
龍郷町	1,820	1	1	0	1,822	0	1,822	1,706	116
喜界町	2,260	2	0	0	2,262	7	2,269	2,335	-66
徳之島町	2,303	71	5	4	2,383	50	2,433	2,536	-103
天城町	1,647	2	1	0	1,650	48	1,698	1,710	-12
伊仙町	1,208	83	2	1	1,294	0	1,294	1,290	4
和泊町	1,831	39	5	0	1,875	0	1,875	1,995	-120
知名町	2,046	28	0	0	2,074	0	2,074	2,154	-80
与論町	1,579	9	0	0	1,588	0	1,588	1,570	18
小計	17,282	350	16	6	17,654	113	17,767	18,386	-619
市地区計	249,358	407	407	205	250,377	662	251,039	269,012	-17,973
郡地区計	53,840	36	36	15	53,927	162	54,089	56,462	-2,373
地区分区計	303,198	443	443	220	304,304	824	305,128	325,474	-20,346
支部	48	57	310	82	497	522	1,019	1,020	-1
合計	303,246	8,020	756	302	312,324	1,346	313,670	326,494	-12,824

（５）平成３０年度赤十字会員増強運動功労表彰

１２月末までに会費募集目標額を達成し、さらに次の基準を満たす地区・分区・支所等を支部長名で表彰した。

１　会員募集表彰基準

（ア）個人会員（５００円以上１０,０００円未満）募集目標数を達成し、さらに1,０００円以上１０,０００円未満会員目標件数を１１０％以上達成した地区・分区・支所等

<table>
<tr><th>管　　内</th><th>地　区・分　区　名</th><th>件　数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">市　地　区</td><td>出水市地区（野田支所)、指宿市地区（山川支所）</td><td rowspan="3">7</td></tr>
<tr><td>薩摩川内市地区（上甑分区)、いちき串木野市地区</td></tr>
<tr><td>南さつま市地区(加世田地域、笠沙支所、大浦支所)</td></tr>
<tr><td>大 島 地 区</td><td>宇検村分区</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　　計</td><td>8</td></tr>
</table>

（イ）個人会員（１０,０００円以上）件数及び法人会費目標件数を達成した地区・分区・支所等

管　　内	地　区・分　区　名	件　数
市　地　区	出水市地区（野田支所）	1(1)
合　　　計		1(1)

（ウ）その他特に会員募集に顕著な功績があった地区・分区・支所等

※総会員目標件数を１１０％以上達成しさらに法人会員目標件数を達成した地区分区

<table>
<tr><th>管　　内</th><th>地　区・分　区　名</th><th>件　数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">市　地　区</td><td>出水市地区（野田支所)、薩摩川内市地区（祁答院分区)、</td><td rowspan="4">１０(3)</td></tr>
<tr><td>曽於市地区（財部分区)、霧島市地区（溝辺分室、福山分室）</td></tr>
<tr><td>南さつま市地区（加世田地域、笠沙支所、金峰支所）</td></tr>
<tr><td>志布志市地区（松山支所)、奄美市地区（笠利分区）</td></tr>
<tr><td>大 隅 地 区</td><td>東串良町分区、肝付町分区</td><td>2</td></tr>
<tr><td>熊 毛 地 区</td><td>中種子町分区</td><td>1</td></tr>
<tr><td>大 島 地 区</td><td>喜界町分区</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　　計</td><td>１４（3)</td></tr>
</table>

2　会費募集表彰基準

（ア）当年度会費等実績額が前年度実績の１０２％以上を達成した地区・分区・支所等

管　　内	地　区・分　区　名	件　数
市　地　区	霧島市地区（霧島分室）	1
鹿児島地区	三島村分区	1
大 隅 地 区	南大隅町分区	1
合　　　計		3

（イ）その他特に会費等募集に顕著な功績があった地区・分区・支所等

※会費目標額を１２５％以上達成した地区分区

管　　内	地　区・分　区　名	件　数
市　地　区	鹿屋市地区（吾平支所）、出水市地区（野田支所） 薩摩川内市地区（東郷分区、上甑分区）、日置市地区（日吉分区） 霧島市地区（霧島分室） 南さつま市地区(加世田地域、笠沙支所、大浦支所、坊津支所 金峰支所)、志布志市地区（松山支所）、南九州市地区（川辺分区）	１３(8)
鹿児島地区	三島村分区	1(1)
大 隅 地 区	錦江町分区、南大隅町分区	2(1)
大 島 地 区	宇検村分区、徳之島町分区、天城町分区	3(1)
合　　　計		１９（11)

件数欄の（　　）内は、再掲。

（６）過去５か年間の種別会員（社員）数の推移

種別 ＼ 年度		平成26年度 件数	平成26年度 増減	平成27年度 件数	平成27年度 増減	平成28年度 件数	平成28年度 増減	平成29年度 件数	平成29年度 増減	平成30年度 件数	平成30年度 増減
個人	500円以上 1,000円未満	337,748	△ 8,313	328,837	△ 8,911	323,788	△ 5,049	315,368	△ 8,420	303,246	△ 12,122
	1,000円以上	11,813	△ 764	11,291	△ 522	10,726	△ 565	9,793	△ 933	9,078	△ 715
	小計	349,561	△ 9,077	340,128	△ 9,433	334,514	△ 5,614	325,161	△ 9,353	312,324	△ 12,837
法　　人		1,229	92	1,288	59	1,451	163	1,333	△ 118	1,346	13
合　計		350,790	△ 8,985	341,416	△ 9,374	335,965	△ 5,451	326,494	△ 9,471	313,670	△ 12,824

（７）平成３０年度一般社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額 ＼ 内訳		一般社資		個人住民税に関する指定事業社資		合　計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	4	10,000,000			4	10,000,000
2	50万円以上 100万円未満	1	500,000			1	500,000
3	20万円以上 50万円未満	2	421,000	1	200,000	3	621,000
4	10万円以上 20万円未満	11	1,128,440	9	900,000	20	2,028,440
5	5万円以上 10万円未満	17	850,000			17	850,000
6	3万円以上 5万円未満	27	821,000			27	821,000
7	1万円以上 3万円未満	230	2,709,740			230	2,709,740
8	5千円以上 1万円未満	197	1,181,675			197	1,181,675
9	1千円以上 5千円未満	8,579	9,370,276			8,579	9,370,276
10	500円以上 1千円未満	303,246	151,811,301			303,246	151,811,301
11	500円未満	73,857	16,782,227			73,857	16,782,227
社資合計		386,171	195,575,659	10	1,100,000	386,181	196,675,659

（８）平成３０年度法人社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額 ＼ 内　訳		指定事業社資		その他法人社資		合　計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上					0	0
2	50万円以上 100万円未満	1	500,000	2	1,000,000	3	1,500,000
3	20万円以上 50万円未満	2	500,000	5	1,334,560	7	1,834,560
4	10万円以上 20万円未満	8	800,000	13	1,391,400	21	2,191,400
5	5万円以上 10万円未満			31	1,741,659	31	1,741,659
6	2万円以上 5万円未満			91	2,376,348	91	2,376,348
7	1万円以上 2万円未満			536	5,453,331	536	5,453,331
8	5千円以上 1万円未満			366	1,900,639	366	1,900,639
9	1千円以上 5千円未満			273	601,650	273	601,650
10	500円以上 1千円未満			12	6,878	12	6,878
11	500円未満			6	2,042	6	2,042
合　計		11	1,800,000	1,335	15,808,507	1,346	17,608,507

（９）日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿（敬称略）　※順不同

◎日本赤十字社の表彰（章）

日本赤十字社感謝状　２４件

・竹田　忠雄（出水市）
・鵜瀬　廣志（鹿屋市）
・實來　弘子（鹿児島市）
・上村　俊郎（薩摩川内市）
・永瀬　エイ子（鹿屋市）
・平城　エミ（伊佐市）
・藤岡　義道（指宿市）
・柳田　玉留（鹿児島市）
・瀬戸口　龍哉（出水市）
・公益財団法人　いちょうの樹（鹿児島市）
・鹿児島市社会福祉協議会（鹿児島市）
・赤十字奉仕団鹿児島県支部委員会（鹿児島市）
・フタバ株式会社（鹿児島市）
・白玉醸造株式会社（肝属郡錦江町）
・医療法人　恵愛会　上村病院（薩摩川内市）
・株式会社　倉岡建設（鹿屋市）
・鹿児島県税友会　研修部（鹿児島市）
・株式会社　アーステクノ（出水市）
・南生建設株式会社（鹿児島市）
・株式会社　肥後産業（鹿児島市）
・合資会社　甲斐商店（伊佐市）
・第一建設　株式会社（姶良市）
・株式会社　山形屋（鹿児島市）
・株式会社　鹿児島銀行（鹿児島市）

金色有功章　２０件　（不掲載希望者　４件を含む）

・有馬　仁子（鹿児島市）
・宮原　千代子（枕崎市）
・泊　浩平（南九州市）
・齋藤　一雄（鹿児島市）
・神村　サヨ子（鹿児島市）
・ブラック　スミコ（鹿児島市）
・福田　節夫（鹿児島市）
・鹿児島県信用保証協会（鹿児島市）
・医療法人　鶴丸会　鶴丸歯科医院（鹿児島市）
・有限会社　緑調剤薬局（薩摩川内市）
・株式会社　大村工務店（肝属郡南大隅町）
・奄美酒類　株式会社（大島郡徳之島町）
・（医）奎英会　むかいクリニック（奄美市）
・山下丞税理士事務所（鹿児島市）
・上川路会計事務所（鹿児島市）
・有限会社　ダスキンせなあ（薩摩川内市）

銀色有功章　６５件　（不掲載希望者　１２件を含む）

・時村　佳尚（鹿児島市）
・藤村　慎一（鹿児島市）
・中村　和郎（鹿児島市）
・坂元　昭夫（鹿児島市）
・吉冨　信雄（鹿児島市）
・小手川　通雅（肝属郡肝付町）
・徳重　彰則（鹿児島市）
・川村　安次郎（大島郡徳之島町）
・武冨　榮二（鹿児島市）
・田代　信正（鹿児島市）
・坂上　新（鹿児島市）
・山下　俊一（鹿児島市）
・肥後　巖（大島郡和泊町）
・平川　憲生（鹿児島市）
・西田　眞理子（指宿市）
・中野　隆行（出水市）
・医療法人　玉水会病院（鹿児島市）
・三州技術コンサルタント（株）（鹿児島市）
・南九州イワタ産業株式会社（鹿児島市）
・株式会社　鹿児島建設新聞（鹿児島市）
・大分海事　株式会社（鹿児島市）
・立正佼成会鹿児島教会（鹿児島市）
・ヤマト消火器商会（鹿児島市）
・（社）鹿児島市歯科医師会（鹿児島市）
・鹿児島県酪農業協同組合大隅支所（鹿屋市）
・（有）白水電器水道設備（鹿屋市）
・安田建設工業　株式会社（霧島市）
・有限会社　国分市清掃社（霧島市）
・株式会社　里山組（奄美市）
・川口建設　株式会社（奄美市）
・（株）久保会計事務所（奄美市）
・（鹿県）建設業協会宮之城支部（薩摩郡さつま町）
・尾田内科胃腸科（姶良市）
・合名会社　今村呉服店（伊佐市）
・株式会社　大口組（志布志市）
・株式会社潮路（肝属郡肝付町）
・高山ＣＨＯＹＡソーイング　株式会社（肝属郡肝付町）
・（有）ひらかわ（熊毛郡中種子町）
・有限会社　元田製菓（大島郡徳之島町）

・株式会社　貴島建設（大島郡天城町）
・南西糖業　株式会社（大島郡天城町）
・株式会社　平岩熱学（出水市）
・株式会社　福永建設（大島郡徳之島町）
・鹿児島県遊技業協同組合（鹿児島市）
・近代産業株式会社　ビルサービス（鹿児島市）
・右田税理士事務所（鹿児島市）
・枕崎市漁業販売　株式会社（枕崎市）
・ヒラヤス（大島郡徳之島町）
・株式会社シャインクル（霧島市）
・プリントネット株式会社（鹿児島市）
・大野商事株式会社（鹿児島市）
・有限会社　中村酒造場（霧島市）
・（公社）鹿児島市労働基準協会ヘルスサポートセンター（鹿児島市）

10　医　療　事　業

鹿児島赤十字病院は,公的病院として地域医療の進展に貢献していくため，一般病床１２０床をベースに災害時の医療救護，離島・へき地医療への取り組みはもとより，リウマチ・膠原病，関節・脊椎整形外科，脳神経外科領域を主とする救急医療など，各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の適切な提供に取り組み，その使命と役割を果たしている。

これらの医療活動を円滑に展開していくため，医師・看護師等人材の確保や医療機器･設備の改善とともに地域医療連携の一層の推進等を図りつつ，平均在院日数の短縮，病床稼働率の改善・向上など引き続き経営収支の改善と安定化に取り組むこととともに，医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めた。

また、平成２９年８月の厚生労働省からの「公的医療機関等２０２５プラン」の策定に関して、１２月に鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議において急性期１２０床を維持することの説明等を行ったところである。今後も毎年、同調整会議での説明等が実施される予定である。

（1）一 般 医 療

手術室の様子

ア　診療科目　　　９診療科
〔内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科〕
イ　診療日　月曜日～金曜日（緊急時はこの限りではありません）
ウ　診療実績
①入院患者数

鹿児島赤十字病院は，昭和５５年以降，結核病床主体から一般病床へのシフト化とともに，特定疾患としてリウマチ膠原病や骨粗しょう症，生活習慣病対策に取り組み，更に，関節・脊推を主体とする整形外科を導入するなど予防・診断・治療からリハビリテーションまでの包括的医療体制を整備してきた結果，一般患者の診療圏が県内全域に及ぶようになった。

更に，平成１５年７月に脳神経外科，平成１６年３月には麻酔科、平成２５年１月には循環器内科を設置し、救急の受入れや手術への対応など診療活動の拡充に努めている。

なお、平成３０年度から鹿児島大学からの循環器内科医師派遣体制が非常勤医師のみとなったが、入院患者延数は３５，９５５人で,前年度より７７５人多い２．２％増となった。

〔診療科別入院患者数〕　　（単位：人）

区　分	平成30年度				平成29年度				比較(H30-H29)		
種　別	在院延数	退院	患者延数[在院+退院]	1日平均患者数	在院延数	退院	患者延数[在院+退院]	1日平均患者数	在院延数	患者延数[在院+退院]	1日平均患者数
内　科	3,715	217	3,932	10.8	2,719	148	2,867	7.9	996	1,065	2.9
リウマチ科	11,438	1,076	12,514	34.3	10,967	1,096	12,063	33.0	471	451	1.3
整形外科	14,561	622	15,183	41.6	13,324	560	13,884	38.0	1,237	1,299	3.6
脳神経外科	4,120	206	4,326	11.9	4,478	230	4,708	12.9	△358	△382	△1.0
循環器内科					1,595	63	1,658	4.5	△1,595	△1,658	△4.5
合　計	33,834	2,121	35,955	98.5	33,083	2,097	35,180	96.4	751	775	2.1
			病床稼働率	82.1%			病床稼働率	80.3%		病床稼働率	1.8%

②外来患者数

外来患者数は，病院の立地条件等により，入院患者延数に比し少ない傾向を示しているが，平成３０年度の患者数は，３３，７１２人で，前年度より７８８人少ない２．３％減となった。

〔診療科別外来患者数〕　（単位：人）

区　分	平成 30 年度	平成 29 年度	比較(H29-H28)	
			増減(人)	前年比(%)
内　　科	5,918	5,784	134	102.3
リウマチ科	12,643	12,965	△322	97.5
整形外科	9,754	9,773	△19	99.8
呼吸器内科	439	425	14	103.3
脳神経外科	3,536	3,657	△121	96.7
循環器内科	1,422	1,896	△474	75.0
合　計	33,712	34,500	△788	97.7

【参考】市町村別入院・外来患者数　（単位：人）

市町村	患者数		市町村	患者数		市町村	患者数	
	入院	外来		入院	外来		入院	外来
鹿児島市	16,962	20,150	奄美市	168	47	南種子町	113	28
鹿屋市	592	475	南九州市	2,897	2,870	屋久島町	414	95
枕崎市	1,258	1,092	伊佐市	55	58	大和村	0	0
阿久根市	183	121	姶良市	670	296	宇検村	0	1
出水市	219	139	三島村	109	15	瀬戸内町	0	13
指宿市	3,891	3,853	十島村	14	43	龍郷町	138	4
西之表市	374	81	さつま町	82	100	喜界町	8	10
垂水市	298	187	長島町	90	61	徳之島町	0	12
薩摩川内市	576	551	湧水町	46	23	天城町	0	13
日置市	641	777	大崎町	67	79	伊仙町	34	7
曽於市	106	43	東串良町	59	11	和泊町	0	15
霧島市	798	291	錦江町	8	23	知名町	107	4
いちき串木野市	302	309	南大隅町	93	44	与論町	0	6
南さつま市	1,448	1,279	肝付町	127	57	県　外	288	306
志布志市	357	72	中種子町	242	51	計	33,834	33,712

※入院患者数は在院延数で記載

③実習生受け入れ状況

受入担当部	期間	実習生数	実習項目	実習依頼校
整形外科部	第2・4週目の水曜日	5名	ポリクリ実習	鹿大医学部５年・６年生
リハビリテーション科部	4/9～6/16	1名	理学療法(3年)	神村学園専修学校
	4/6～6/23	1名	理学療法(3年)	鹿児島第一医療リハビリ専門学校
	7/17～9/7	1名	理学療法(4年)	鹿児島大学医学部保健学科
	7/30～10/6	1名	理学療法(3年)	鹿児島医療福祉専門学校
	8/6～10/12	1名	理学療法(4年)	鹿児島医療技術専門学校
	2/25～3/1	2名	作業療法見学(1年)	鹿児島医療技術専門学校
	2/18～2/20	2名	理学療法見学(1年)	鹿児島大学医学部保健学科
看護部	4/25～26	2名	看護教員病棟研修	希望が丘学園 鳳凰高等学校
	6/4～29	7名	成人・老年看護学実習Ⅱ	鹿児島医療技術専門学校4年
	8/27～9/21	10名	統合実習	鹿児島医療技術専門学校4年
	11/19～12/14	5名	成人・老年看護学実習Ⅰ	鹿児島医療技術専門学校3年
	1/28～2/22	5名	成人・老年看護学実習Ⅰ	鹿児島医療技術専門学校3年
	2/25～3/22	10名	看護過程実習	鹿児島医療技術専門学校2年
	5/27～6/21	4名	基礎看護実習	希望が丘学園 鳳凰高等学校基礎課程2年
	11/6～11/29	8名	成人・老年看護実習	希望が丘学園 鳳凰高等学校基礎課程3年
	7/9～7/18	8名	統合実習	希望が丘学園 鳳凰高等学校専門課程2年
	10/2～10/12	4名	統合実習	希望が丘学園 鳳凰高等学校専門課程2年
	6/25～7/12	5名	基礎看護学実習Ⅱ	医療法人協会立看護専門学校2年
	10/1～18	5名	成人看護学実習Ⅱ	医療法人協会立看護専門学校3年
	2/4～20	10名	成人看護学実習Ⅰ	医療法人協会立看護専門学校2年
医療社会事業部	8/6～9/5	2名	ソーシャルワーク実習	鹿児島国際大学
	9/14	7名	ソーシャルワーク実習入門(社会福祉入門Ⅱ)	鹿児島国際大学

（２）医療救護活動

赤十字病院の特徴として、台風や地震などの災害、事故などへの災害救護活動を使命としていることである。災害発生度の高い本県の気象条件，地理的特徴に鑑み，災害時に医師・看護師等を速やかに派遣し，その機能が十分発揮できるよう、常備救護班の整備や災害救護訓練に積極的に参加するなど，緊急時に備えるとともに、発災時においては積極的な医療救護班の派遣に努めている。平成 21 年度鹿児島県 DMAT 指定病院に指定。

ア　医療救護活動

期日	日数	場所	内容	派遣職員
8 月 6 日～8 日	3	霧島市牧園町	青少年赤十字トレセン（中学校）救護	1 名（看護師）
8 月 9 日～11 日	3	霧島市牧園町	青少年赤十字トレセン（小学校）救護	1 名（看護師）
8 月 9 日～11 日	3	霧島市牧園町	青少年赤十字トレセン（高等学校）救護	1 名（看護師）
8 月 17 日～23 日	7	ベトナム社会主義共和国	日本赤十字社第 6 ブロック青少年赤十字海外派遣事業	1 名（看護師）
8 月 24 日～27 日	4	十島村悪石島	十島村悪石島ボゼ祭り救護	1 名（医師）
8 月 18 日	1	鹿児島港本港区	錦江湾サマーナイト大花火大会救護	6 名（医師 1、看護師 3、主事 2）
10 月 12 日～14 日	3	十島村宝島	トカラマラソン救護	2 名（医師 1、看護師 1）
3 月 3 日	1	鹿児島市	かごしまマラソン 2019 救護	5 名（医師 1、看護師 3、主事 1）

イ　災害救護訓練・研修

期日	日数	場所	内容	派遣職員
5 月 27 日	1	指宿市	県総合防災訓練	6 名(医師 1､看護師 3､主事 2)
6 月 3 日	1	日赤県支部	救急法救急員資格継続研修（1 回目）	2 名(看護師 2)
6 月 6 日～9 日	4	兵庫県	ＤＭＡＴ隊員養成研修（西第 3 回）	1 名（医師 1）
6 月 9 日～10 日	2	大分県	ＤＭＡＴ技能維持研修（西第 3 回）	1 名(医師 1)
6 月 15 日	1	日赤県支部	こころのケア研修会	12 名（医師 1、看護師 8、主事 3）、講師 2
8 月 4 日～5 日	2	当院	院内救急法基礎・救急員養成講習会	6 名(当院 4、他機関 2)
8 月 11 日	1	当院	院内救急法基礎・救急員養成講習会	6 名(当院 4、他機関 2)
8 月 26 日	1	日赤県支部	救急法救急員資格継続研修（2 回目）	17 名（看護師 14、主事 3）
9 月 1 日～2 日	2	当院	院内救急法基礎・救急員養成講習会	25 名（当院 5、他機関 2、外部 18）
9 月 7 日	1	鹿児島市	鹿児島市多数傷病者事故対応訓練	5 名（医師 1、看護師 3、主事 1）
9 月 8 日	1	当院	院内救急法基礎・救急員養成講習会	23 名（当院 5、他機関 2、外部 16）
9 月 17 日～18 日	2	佐賀県	ＤＭＡＴ技能維持研修	2 名（医師 1、看護師 1）
9 月 22 日	1	日赤県支部	救護員基礎研修（2 日間）	10 名（医師 1、看護師 7、主事 2）
10 月 21 日	1	日赤県支部	救急法救急員資格継続研修（3 回目）	10 名（看護師 9、主事 1）
10 月 27 日	1	日赤県支部	救護員フォローアップ研修	10 名（医師 2、看護師 8）
10 月 27 日	1	日赤県支部	救護員基礎研修（2 日間）	10 名（医師 1、看護師 7、主事 2）
11 月 10 日～11 日	2	鹿児島県	九州・沖縄ブロックＤＭＡＴ実動訓練	5 名（医師１、看護師 3、主事 1）
12 月 2 日～3 日	2	佐賀県	九州ブロック支部合同災害救護訓練	5 名（医師 1、看護師 3、主事 1）
1 月 12 日	1	鹿児島市	桜島火山爆発総合防災訓練	5 名（医師 1、看護師 3、主事 1）
1 月 26 日～27 日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネーター研修（2 回目）	1 名（医師 1）
1 月 27 日	1	日赤県支部	救急法救急員資格継続研修（4 回目）	5 名（看護師 3、主事 2）
2 月 16 日～18 日	3	日赤兵庫県支部他	全国赤十字救護班研修会	2 名（看護師 1、他機関 1）
3 月 13 日	1	鹿児島市	大型クルーズ船事故対策訓練	5 名（医師 1、看護師 3、主事 1）
3 月 17 日	1	日赤県支部	救急法救急員資格継続研修（5 回目）	7 名（看護師 6、主事 1）

（３）医療社会事業

離島からの患者ヘリ搬送

遠隔医療(TV 会議)システム
による診察

ア　へき地医療拠点病院事業

鹿児島赤十字病院は，昭和５６年４月１日から鹿児島広域市町村圏のへき地中核病院として県の指定を受け離島・へき地医療に携わってきたが、へき地中核病院の再編成により平成１４年７月１日にへき地医療拠点病院として指定を受け県から４人の派遣医師を受入れ，離島・へき地診療所への医師の派遣及び巡回診療に取り組んでいる。

なお，三島村は平成１２年１０月から、十島村の上四島は平成１４年４月からそれぞれ医師１人の常駐化を図っているが，へき地診療所で対応困難な緊急を要する患者を、ヘリコプター（県消防防災ヘリ、鹿屋自衛隊ヘリ）で搬送する体制にも添乗医師として協力している。併せて、離島職員・患者と当院にいる医師が双方向でやりとりする遠隔医療(TV会議)システムを活用し、迅速な対応に努めている。

また，平成１７年４月から特定診療料（眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科）巡回診療が県から移管され、大学病院，県医師会の協力を得て、県内専門医不在市町村に医師・看護師等の派遣及び巡回診療を行った。

さらに、へき地医療拠点病院医師派遣事業の一環として、へき地診療所等に代診医師の派遣を行なった。

①三島村・十島村医師等派遣

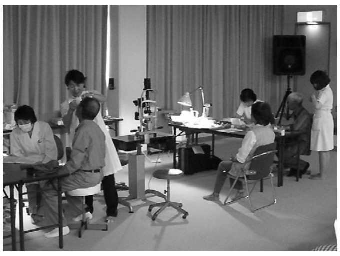
地　区	診療所数	医師派遣 延日数	看護師派遣 延日数	延受診者数	医師添乗ヘリコプター 急患搬送回数
三島村	4 診療所	162.5	0.0	1,801	4 回
十島村	7 診療所	302.5	27.5	1,719	5 回
計	11 診療所	465	27.5	3,520	9 回

②特定診療科巡回診療 [*十島村にはヘリ運営事業による耳鼻科医師派遣(3.0 日)・延数(60 人)含む]

	実　施 市町村	地区	派遣延日数（日）				受診者延数（人）			
			医師	看護師	その他	計	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	計
1	屋久島町	口永良部島	6.0	4.0	2.0	12.0	5	3	8	16
2	薩摩川内市	甑島 3 島	12.0	8.0	6.0	26.0	121	159	90	370
3	三島村	全 3 島	10.0	6.0	6.0	22.0	0	22	30	52
4	*十島村	全 7 島	27.0	18.0	21.0	66.0	65	56	94	215
計			55.0	36.0	35.0	126.0	191	240	222	653

イ　へき地医療拠点病院医師派遣事業（代診医師）

派遣日	派遣先	派遣医師数(人)
6/8	薩摩川内市里診療所	1



特定診療科の巡回診療

ウ　居宅介護支援事業〔ケアプラン作成〕　　　　　　　　　　　　　　　（単位：件，％）

		ケアプラン作成件数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延件数
鹿児島市	平成29年度計	25	26	28	26	27	26	25	24	24	25	24	22	302
	平成30年度計	27	26	27	28	28	30	31	29	27	23	28	26	330
鹿児島市外	平成29年度計	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	平成30年度計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
計	平成29年度計	25	26	28	27	28	27	26	25	25	26	25	23	311
	平成30年度計	28	26	27	28	28	30	32	29	27	23	29	27	334
	対前年度比	112.0	100.0	96.4	103.7	100.0	111.1	123.1	116.0	108.0	88.5	116.0	117.4	107.4

エ　保健衛生事業への協力

①へき地における住民検診・赤十字講習会等

事　業　名	実施地区	実施人員(人)		対前年比(%)
		平成29年度	平成30年度	
住民健(検)診及び健康診断	三島村(4地区) 十島村(7地区)	428	485	113.3%
予　防　接　種	三島村(4地区) 十島村(7地区)	862	655	76.0%
赤十字救急法講習会及びＡＥＤ講習	三島村(4地区) 十島村(7地区)	187	161	86.1%
特定健康診査	本院	132	99	75.0%
計		1,609	1,400	87.0%

②生活習慣病予防健診　(単位：人)

種類＼年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般健診	538	497	402	413	455
人間ドック	187	104	84	84	69
脳ドック	101	72	102	108	86
計	826	673	588	605	610

オ　相談援護関係実施状況

内　容	件　数	内　容	件　数
家族関係に関すること	8	受診・受療に関すること	2,660
在宅介護・地域生活に関すること	1,120	転院に関すること	1,110
療養生活に関すること	1,184	他施設利用に関すること	118
経済的問題に関すること	16	心理・情緒的問題に関すること	15
就労・職場環境に関すること	4	他福祉関係利用に関すること	32
就学・教育環境に関すること	0	その他（カンファレンス・回診等）	200
虐待・暴力・人権に関すること	0		
		合　計	6,467

11 血 液 事 業

血液事業は国民の信頼のうえに成り立っている事業であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に基づき、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給を使命としている。同法においては、輸血用血液の国内自給を基本理念とし、血液事業の実行にあたっては、国、都道府県、市町村、採血事業者、医療関係者等の各々の役割と責任が明確化されている。

しかしながら、需給面では、少子高齢化に伴う人口構造の変化等に起因する採血量と供給量の不均衡への対応、また、薬機法に基づく輸血用血液製剤の安全性確保対策や大規模災害等における危機管理の対応など、今後の持続可能な血液事業のためには、より効率的、合理的な事業運営が必要である。

日本赤十字社では血液事業の運営体制につきまして、血液製剤の更なる「安全性の向上」と「安定供給の確保」、また、国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的に、平成24年4月より従来の各都道府県の血液センター単位による事業運営体制から全国を7ブロックに分けたブロック単位での広域的な事業運営体制を開始した。さらに平成30年度には、供給体制の見直しに向けた対応を検討し、備蓄医療機関制度の廃止等の対応を進めている。

鹿児島県赤十字血液センターをはじめ、採血・供給業務を受持つ地域の血液センターは、血液事業を担う最前線として、国が進める「献血推進計画」に基づき、特に若年層献血者の増加を目的とした「献血セミナー」の開催や学生献血推進協議会主催の「イベント献血」、体験学習など、広く県民に献血思想の普及と献血行動を促進し、若年層を中心に県民の献血への参加意識を高め、新規献血者の増加を図ることとしている。

全国的な輸血用血液製剤の需要としては減少傾向がみられる一方で、血漿分画製剤用原料血漿としての需要は増大している。鹿児島県では平成30年度の目標献血者数62,499人に対して、61,840人の方々に献血のご協力をいただいているが、輸血用血液製剤として平成30年度に鹿児島県に供給された血液は、200mL献血由来が1,035本、400mL献血由来が57,925本、成分献血由来が13,536本の合計72,496本である。

当血液センターでは、血液事業を巡る社会環境とニーズの変化を機敏に把握・対応し、地域輸血医療の技術的支援拠点として進化し続けることができるよう関係機関、県民の力を結集し、協働を促進していくこととしている。

（１）採血・供給実績

ア 献血者数

(単位:人)

区　　分	２００mＬ	４００mＬ	成　　分	合　　計
血液センター	87	4,338	6,925	11,350
献血ルーム	377	5,415	8,045	13,837
献　血　バ　ス	249	36,404	0	36,653
合　　計	713	46,157	14,970	61,840
構　成　比（%）	1.2%	74.6%	24.2%	100.0%
対前年比（%）	83.1%	96.8%	116.3%	100.7%

イ 総供給本数

(単位:本)

成　分	200mL由来	400mL由来	成分由来	合　計	200mL換算	対前年比
全血製剤	0	0		0	0	0.0%
赤血球製剤	754	47,910		48,664	96,574	100.5%
血漿製剤	281	10,015	2,364	12,660	29,767	94.9%
血小板製剤			11,172	11,172	111,723	102.0%
合　　計	1,035	57,925	13,536	72,496	238,064	100.5%
構　成　比	1.4%	79.9%	18.7%	100.0%		

（2）献　血　推　進

献血の推進は､｢安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律｣により､基本的には国及び地方公共団体の責務とされ、国及び地方公共団体が、毎年献血推進計画を策定することとなっている。一方、血液センターは、採血事業者として献血受け入れの推進を行わなければならないとされた。しかしながら、医療に必要な血液の確保は、県民一人ひとりの献血運動に対する理解と協力に支えられている。特に、少子高齢化が進む中、若年層の献血者確保に重点をおき、三者一体となった推進が必要である。

平成３０年度においても、医療機関の要請を満たすべく、より副作用発生の可能性が低い４００ｍＬ献血及び成分献血の推進強化に努めるとともに、県民への献血思想の普及啓発を図るため、県・市町村献血推進協議会及びその他団体の協力を得て、下記の事業を実施した。

◎６月８日　「市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議」

血液製剤の安全性向上と安定供給を図るための基本方針や、最近の献血、輸血用血液製剤の供給状況や安全対策等について説明を行った。

また、輸血を受けたことのある方やその家族で構成している「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」の会員による講演も実施し、献血の重要性について再確認いただいた。

◎７月１日～３１日　「愛の血液助け合い運動月間」

例年、鹿児島県、鹿児島県血液対策推進協議会との共催により、鹿児島市繁華街において関係団体の方々の協力を得て、大々的な街頭キャンペーンを行っているが、今年度は天候不良（大雨）により中止となった。

期間中はSNS等でPRし、献血者に記念品を配付した。

◎７月２７日～２９日　「楽しく学ぼうキッズ献血」

将来の献血者確保事業の一つとして小学生（４年～６年生）を対象に、視聴教材を用いた血液事業に関する講座や、医師・看護師・献血者等に扮装して模擬献血をする「キッズ献血」を実施し、期間中、小学生１３７名の参加があった。

このイベントを通して、将来の献血を担う若年層に対する献血思想の啓発を行うことができた。

◎１０月１２日　「ライオンズクラブ献血推進セミナー」

献血協力、推進等に大きな役割を果たしている県内ライオンズクラブの役員、会員の方々を中心に更なる血液事業への理解と相互の情報交換を目的とした「献血推進セミナー」を開催した。

セミナーでは、県内の血液事業について説明を行うとともに、各クラブの活動状況報告等を行い、今後の取組みについて対策等を協議した。

また、輸血を受けたことのある方やその家族で構成している「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」の会員による講演も実施し、献血の重要性について再確認いただいた。

◎１１月１２日
～１１月１７日　「ＭＢＣラジオ献血ウィーク」

広く県民の方々に献血に対する理解を深めていただくため、２０年以上の長きにわたりＭＢＣ南日本放送のAM周波数にあわせ「１１０７名」の献血者を目標とし、本年度も「献血ウィーク」を実施した。

期間中はラジオで献血に関する広報を行い、９６１名の方々に献血のご協力をいただいた。

◎１２月６日
～１２月２３日　「全国学生クリスマス献血キャンペーン２０１８」

全国学生クリスマス献血キャンペーンの一環として、鹿児島県学生献血推進協議会の主催により、県内５カ所（鹿児島大学・鹿児島国際大学・志學館大学・イオンモール鹿児島・イオンタウン姶良）において実施した。協賛企業・団体からのプレゼントによる抽選会、お菓子やドリンクサービスなど献血者が楽しめる企画を展開し、合計２４４名の方々に献血のご協力をいただいた。

◎１月１日　　　「はたちの献血キャンペーン」
　～２月２８日

成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方々を中心に、献血について理解を深めていただき、冬季における輸血用血液の安定供給を図るため、テレビやラジオＣＭ、ポスター掲示等の広報を行うなど１月から成人の日をはさみ２カ月間全国的に展開している。

当県では、１月１３日（日）天文館ベルク広場において、ライオンズクラブ、学生献血推進協議会等各種団体の協力を得て、街頭キャンペーンを実施した。

◎２月１１日　　　「バレンタイン献血」

鹿児島県学生献血推進協議会が主催し、同年代の若年層を中心とした“献血の輪”を広げること、また、冬季はインフルエンザ等の流行により献血協力が得られにくいことから、輸血用血液の確保を目的として平成１５年より、毎年バレンタインデーの時期に合わせ実施している。

平成３０年度もイオンモール鹿児島において献血者にお礼としてチョコレートと献血への感謝の気持ちを綴ったメッセージカードを差し上げて献血強化を図った。

◎３月９日　　　「ホワイトデー献血」

鹿児島県学生献血推進協議会が主催し、同年代である若年層への献血の呼びかけと感謝の気持ちを献血者に直接伝えることを目的として、平成２４年より実施している。

平成３０年度もイオンモール鹿児島において献血協力者にチョコレートや献血への感謝の気持ちを綴ったメッセージカードを差し上げて定期的な協力を呼びかけた。

◎３月２１日　　　　「μFM春休み献血キャンペーン」
　～３月３０日　　　　一年を通じて献血者確保が特に難しい時期である年度末に、平成２９年度より本キャンペーンを実施している。期間中は、エフエム鹿児島の番組にセンター職員及び学生ボランティアが出演し献血の呼びかけを行い、１，６０１名の方々に献血のご協力をいただいた。

（3）受　入　体　制

当県の固定施設である「献血プラザかもいけクロス」及び「献血ルーム・天文館」においては、成分献血を中心とした献血者の確保と４００ｍＬ献血の推進に努めるとともに、安全な献血者を安定的に確保するために設置された「複数回献血クラブ（ラブラッド）」の会員募集を強化した。

また、事業の一環として、ラブラッド会員を対象とした鹿児島県美容専門学校によるネイルサービスや、外部講師による管理栄養士の健康講話等を実施して会員の増強を図った。そのほか、ラブラッド会員へのメール配信を実施し、特に献血者の減少する冬季の献血者確保に努めた。

一方、献血バスにおいては、医療機関からの要請に合わせた献血者確保を行うため、採血調整検討会を毎月開催し、自給自足の達成及び献血バス１稼動５２名の献血者確保を目標に配車計画の調整を行っている。また、九州ブロックにおける製剤業務集約後の各県の採血調整を行い効率的・安定確保を図るため、ブロック内で「需給計画委員会」を開催している。

そのほか、４００ｍＬ献血を推進するために「イベント献血」や「献血キャンペーン」を実施し、広く県民に献血思想の普及と血液事業への理解を求めるため、広報活動を実施した。

（4）供　給　体　制

医療機関からの血液要請に対して、受注から出庫・供給までの業務が円滑に行われるよう手順の再確認を行い、併せて医薬品医療機器等法（旧薬事法）、血液法等の法令遵守が図られるように教育訓練を徹底した。

また、各医療機関との情報交換及び連携強化を図り、確実かつ迅速な供給業務に努めるとともに、九州全体として供給予測に見合う採血を効率的に行うために需給管理の強化を図り、安定的な血液製剤の確保、有効利用の推進及び期限切れの抑制に努めた。

受注体制については、電話による聞き間違い及びFAXによる受注入力ミスを減らす観点から、医療機関に対して引き続きWeb発注システム活用の促進に努めた。

供給体制については、平成３１年3月３１日をもって種子島地区の備蓄所を閉鎖したことから、今後は鹿児島県赤十字血液センター及び鹿屋・川内両出張所から、より品質管理の行き届いた輸血用血液製剤を、鹿児島県内全医療機関に安全・迅速かつ確実に直接供給する体制に努める。

（5）医 薬 情 報 活 動

輸血用血液製剤の品質、有効性及び安全性についての情報提供並びに医療機関での適正使用を推進するため、医薬情報担当者（MR）の資質向上を図るとともに、医療機関への訪問等により各種情報の提供・収集を行った。

その他、医療従事者を対象とした輸血用血液製剤の取扱方法や適正使用に関する説明会の実施や医療機関の検査技師、鹿児島大学医学部生の研修受入れ及び献血体験研修を行った。

（６） 献血者登録制度の推進

医療の要請と献血者の善意に的確に対応し、血液の質・量両面にわたる円滑な確保を図るため、献血者登録制度を推進し、高単位製剤、特殊抗体適合血液製剤を安定的に供給し得る体制の確立と、緊急時における血液型別の需要に的確に対応し得る体制の確立に努めた。

さらに、献血登録制度と並行して、安全な血液を安定的に確保することを目的に平成１８年３月に発足させた複数回献血者による献血クラブ（メール登録会員含む）事業を平成３０年１０月より「ラブラット」と称し、さらなる事業の活性化に努めた。

また、ＨＬＡ適合血小板供給の増加に伴い、新たに白血球の検査（ＨＬＡ検査）を行い、医療機関からの要請に早急に対応できるよう新規登録者を募っている。

㈠ 複数回献血クラブ（ラブラッド）会員数

会員数	6,025 人
(前年度末)	(5,350人)

㈡ 複数回献血クラブ事業

○鹿児島県美容専門学校生徒によるネイルサービス
・献血プラザかもいけクロスにて3回開催し、延べ14名が参加

○健康講話及び救急法　・献血プラザかもいけクロスにて1回開催し、39名が参加

（７） 骨髄バンク事業

骨髄提供者の受付及び登録業務を行い、データ管理に万全を期すとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会への協力に努めた。

平成29年度末時点骨髄登録者数	4,220人
平成30年度新規骨髄登録者数	593人
骨髄登録取消者数	261人
累計登録者数	4,552人

（８） 献血功労者表彰

第５４回献血運動推進全国大会は、７月１２日・岡山県岡山市において開催予定でしたが西日本を中心とした豪雨の影響により、中止となった。

［厚生労働大臣表彰状］（２団体）

・鹿児島県立屋久島高等学校
・南九州日野自動車株式会社

［厚生労働大臣感謝状］（８団体）

・国際ロータリー第2730地区
　きもつきロータリークラブ
・九州電力株式会社　川内発電所
・株式会社　丸榮
・医療法人　恵明会　整形外科松元病院
・指宿シーサイドホテル株式会社
・西之表ショッピングセンター
・垂水市立医療センター垂水中央病院
・南さつま農業協同組合

12 社 会 福 祉 事 業

特別養護老人ホーム錦江園は、ユニット型施設として指定介護老人福祉施設事業（８０床）と指定居宅サービス（短期入所生活介護）事業（２床）の事業を行っている。

平成３０年度においても、入居希望者の円滑な入居を進めるため、入居検討委員会を年４回開催した他、介護保険における各種加算項目の算定要件に適切に対応しながら経営の安定に努めた。

懸案となっている介護職員の処遇についても､「介護職員処遇改善加算」による賃金の引き上げを行い、人材の確保に努めた結果、大きな欠員を生じることなくサービスの提供を行うことができた。

なお、社会福祉事業の財源である介護保険事業収入は３８０，６６６千円となり、平成２９年度の決算額３８２，３９５千円と比較すると１，７２９千円の減収となった。

入居者の介護にあっては、一人ひとりの個性や生活リズムに沿ってサービスを提供し、施設においても自宅での生活を継続できるように支援した他、入居者が有する能力に応じ自律した日常生活を営むことができるよう支援した。

また、鹿児島赤十字病院や歯科医療機関等の協力をいただき､入居者の健康管理､口腔ケアに努めた。

（１）指定介護老人福祉施設事業

平成３０年度の施設介護料収入は、介護報酬の引き上げや各種加算の取得により、入居率の低下はあったが、前年度より１，５８２千円増の２８３，２３３千円となった。

＜利用状況＞

	定員数（人）	総日数（日）	延べ数（人）	入居率（%）
平成３０年度	８０	２９，２００	２７，２９２	９３．５
平成２９年度	８０	２９，２００	２７，６６４	９４．７

※総日数＝３６５日（１年間）×定員数

＜入退去者の状況＞　（単位：人）

区　分	入　居	退　所	死　亡
平成３０年度	３４	6	２８
平成２９年度	３４	4	１９

＜入院の状況＞　（延べ日数）

	４月 ～６月	７月 ～９月	１０月 ～１２月	１月 ～３月	計
平成３０年度	４７０	４５７	４９７	３５２	１，７７６
平成２９年度	２８７	２８７	３５５	３６０	１，２８９

＜要介護度の状況＞　（年度末時点）

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
平成３０年度	1	0	２３	２７	２９	８０	４．０４
平成２９年度	2	4	9	２９	３６	８０	４．１６

（２）　指定居宅サービス（短期入所生活介護）事業

平成３０年度の居宅介護料収入は、急な入院による利用日数の減などの理由から、前年度より１，００４千円減の４，３６８千円となった。

＜利用状況＞

	定員数（人）	総日数（日）	延べ数（人）	利用率（%）
平成３０年度	2	７３０	５４６	７４．８
平成２９年度	2	７３０	６２５	８５．６

※総日数＝３６５日（１年間）×定員数（２名）

＜利用者数・要介護度の状況＞　（年度末時点）

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
平成３０年度	0	0	9	2	2	１３	３．４６
平成２９年度	0	0	4	2	4	１０	４．００

（３）　入居者へ質の高いサービスの提供

・職員の資質の向上と職業倫理の徹底を図るため職場内研修を毎月開催し延べ３９８名の職員が参加した。
・外部で開催される各種の研修会に４６回、延べ７１名の職員が参加した。
・職場内研修を充実させるため「感染症等発生予防研修会」「口腔ケア研修会」「介護事故防止研修会」等は、外部から講師を招いて行った。
・「サービス担当者会議」等の各種会議、「感染症等対策委員会」「介護事故防止検討委員会」「身体的拘束適正化検討委員会」等の各種委員会を定期的に開催し、職種間の緊密な連携による質の高いサービスの提供に努めた。
・鹿児島赤十字病院と提携し、週１回の回診を行うことで入居者の健康管理に努めた。
・協力歯科医療機関の歯科医師から入居者の口腔ケアに係る技術的助言や指導を受け、経管栄養食から経口摂取への移行や入居者の口腔機能を維持管理するための口腔ケアに努めた。
・入居者の情緒の安定を図るため、買い物やドライブ、自宅への帰省支援、墓参りなどの個別レクリエーションを実施した。

（口腔ケア研修会）

（水族館への外出）

（墓参り）

（感染症等発生予防研修会）

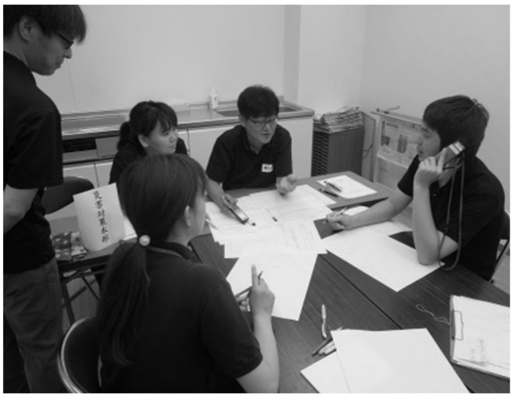
（４） 入居者の安全対策・環境整備

・防災安全委員会を年４回開催した他、防火避難訓練や災害対応研修会を実施し、防災対策および防災意識の向上に努めた。

・大規模災害が発生した際の被害を最小限に抑え、業務を継続することを目的とした「事業継続計画（ＢＣＰ）」の改訂を行った。

・当園が土砂災害警戒区域内にあることから、水防法及び土砂災害防止法の規定に基づく避難確保計画を作成し鹿児島市に提出した。

（防火避難訓練）



（災害対応研修会）

（５） ボランティアの受入れと地域との連携

・敬老祝賀会、秋祭り、慰問などで地区民生委員、地域女性部や老人フクラブ、青年赤十字奉仕団、高校青少年赤十字協議会など延べ２５７名の団体や個人のボランティアを受け入れ、入居者と入居者の家族・地域住民との交流を積極的に行った。

・地域内協力者（町内会、民生委員協議会、地域小学校、中学校、高校等）で構成される「平川まちづくり協議会」に参加し、福祉・安全部会メンバーとして地域との連携や交流拡大に努めた。

（園内レクリエーション）

（平川小学校児童来園）

（６） 実習生の受入れ

・社会福祉士や介護福祉士等を目指す学生（大学生、高校生、専門学校生など）の介護実習等や学生の職場体験学習等を受け入れ、地域との連携に努めた。

＜実習生の受け入れ状況＞

区　分	団　体　・　養　成　校　等	人員	延日数
ＳＷ実習	鹿児島国際大学（２名）	２名	４８日
介護実習等	介護労働安定センター（３名） タラ美容福祉専門学校（２名） 鹿児島医療技術専門学校（２名） 鹿児島国際大学（２名）	９名	１２９日
介護体験等	福平中学校（５名）	５名	１５日
看護実習	鹿児島医療技術専門学校（８名）	８名	３２日
施設見学	鹿児島大学病院（１名） 日本赤十字社静岡県支部有功会（１４名）	１５名	１５日
合　　　　計		３９名	２３９日

（７）地域貢献活動について

・地域に信頼され開かれた福祉施設を目指して、地域や学校主催のイベントにおいて、救急法や生活習慣病予防講座、介護講習等の出前講習を行った。
・台風接近時の避難先として施設を開放し、地域住民の受け入れを行った。

（健康生活支援講習）

（高齢者いきいきセミナー）

（福祉フェスタ in たにやま）

（台風避難者の受け入れ）

（８）　広報活動について

・錦江園だより「さざなみ」を年２回発行し、入居者家族やボランティア等に情報を提供した。

・ホームページを適宜・的確に更新し、地域や一般市民等に対してリアルタイムに必要な情報を提供した。

（９）　その他

・鹿児島県赤十字有功会から多機能車椅子２台、錦江園家族会から多機能車椅子５台を寄贈していただいた。

（参　考）

平成３０年度における入居者の状況（平成３１年３月３１日現在）

（ア）出身市町村別、年齢別の状況　（単位：人）

年齢／出身地	性別	65歳～69歳	70歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計	合計
鹿児島市	男	1	4	4	3	1	0	1	１４	６６
	女	0	2	8	１２	１５	１５	0	５２	
指宿市	男		1						1	4
	女	0	0	1	1	0	1	0	3	
南九州市	女	0	0	1	0	3	0	0	4	4
南さつま市	女				1				1	1
枕崎市	女		1						1	1
霧島市	女	1							1	1
垂水市	女					1			1	1
中種子町	男				1				1	1
十島村	女	0	0	0	0	0	1	0	1	1
計	男	1	5	4	4	1	0	1	１６	８０
	女	1	3	１０	１４	１９	１７	0	６４	

平均年齢	８８歳　６月	最高年齢	１０１歳６月	最少年齢	６９歳１月
男	８２歳　５月	男	１０１歳６月	男	６９歳１月
女	９０歳　１月	女	９９歳４月	女	６９歳６月

（イ）在園期間　（単位：人）

在園期間／性別	１年未満	２年未満	３年未満	４年未満	５年未満	６年未満	７年未満	８年未満	９年未満	１０年未満	１１年未満	１５年未満	合計
男	6	5	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	１６
女	２２	１３	6	3	3	6	1	2	1	3	2	2	６４
計	２８	１８	6	4	4	8	2	2	1	3	2	2	８０

（ウ）　日常生活能力　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

区分	歩行				食事			入浴			着衣			排泄					
														昼間			夜間		
														便所			便所		
	自力歩行	杖等の歩行補助器使用	車いす使用	歩行介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	介助	おむつ使用	自分で可能	介助	おむつ使用
実数（人）	２	８	６９	１	４１	２２	１７	２	１２	６６	２	１９	５９	１３	４３	２４	１０	１５	５５

（エ）疾病の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

病名	人員	病名	人員
脳卒中後遺症	４５	糖尿病	4
アルツハイマー型認知症	1	精神遅滞	1
脳血管性認知症	5	うつ病	1
レビー小体型認知症	2	強皮症	1
心疾患	7	全身性エリトマトーデス	1
関節リウマチ	9	ミトコンドリア脳筋症	1
パーキンソン病	2		

（カ）死亡者の死因　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

区分＼疾病名	老衰	肺炎	がん	脳卒中	播種性血管内凝固	その他	計
施設	4	2	1	0	0	2	9
病院	0	１２	0	1	2	4	１９
計	4	１４	1	1	2	6	２８

13　評議員会及び監査等

（１）支部評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

・第１回支部評議員会［平成３０年６月８日（金）於：マリンパレスかごしま］

第１号議案　平成２９年度主要事業の実施状況報告及び平成２９年度歳入歳出決算について

第２号議案　支部監査委員の選出について

・第２回支部評議員会［平成３１年２月６日（水）於：マリンパレスかごしま］

第１号議案　平成３１年度事業計画（案）及び平成３１年度歳入歳出予算（案）について

第２号議案　代議員の選出について

（２）業務監査

平成２９年度支部業務及び会計歳入歳出決算の支部監査委員による監査は、平成３０年６月４日（月）に、監査委員３名により各施設の監査が実施され、適正であるとの講評を得た。

○日本赤十字社鹿児島県支部一般会計

○鹿児島赤十字病院医療施設特別会計

○特別養護老人ホーム錦江園社会福祉施設特別会計

（３）地区・分区関係各種会議等

社員増強運動並びに事業の進展を図るため、次の会議・研修会等を開催した。

ア　地区・分区支所等事務長及び担当者研修会

・平成３０年４月１９日（木）～２０日（金）

場　　所　　マリンパレスかごしま

参加者数　　７０人

研修内容　　赤十字について

赤十字事務取扱要領について

赤十字事務取扱要領の改訂について

日本赤十字社の活動報告

グループワーク（会費の維持・増強について）

赤十字防災セミナー体験

イ　社業振興幹事会

・平成３０年１０月１９日（金）

場　　所　　鹿児島県赤十字会館

出　　席　　２２人（幹事）

議　　題　　鹿児島県支部における社資募集の現状について

鹿児島県支部における社資募集の課題と今後の取り組みについて

赤十字大会等について

ウ　副地区長及び担当者会議（郡地区）

・平成３０年１月２５日（金）

場　　所　　鹿児島県赤十字会館

出　　席　　１２人

議　　題　　平成３０年度主要事業実施状況概要について

平成３１年度事業計画について

平成３０年度会員数・社資額の状況について

平成３１年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について

地区説明会について

平成３１年全国赤十字大会について

平成３１年度九州八県赤十字大会について

エ　市地区事務長会議

・平成３１年２月２２日（金）

場　　所　　鹿児島県赤十字会館

出　　席　　１９人（市地区）

議　　題　　平成３０年度主要事業実施状況概要について

平成３１年度事業計画について

平成３０年度会員数・社資額の状況について

平成３１年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について

平成３１年全国赤十字大会について

平成３１年度九州八県赤十字大会について

オ　郡地区説明会

・平成３１年２月１５日（金）～２６日（火）（６地区４会場で開催）

出　　席　　４０人（郡地区・地区・分区担当者等）

議　　題　　平成３０年度主要事業実施状況概要について

平成３０年度会員数・社資額の状況について

平成３１年度事業計画について

平成３１年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について

平成３１年全国赤十字大会について

平成３１年度九州八県赤十字大会について

14　決　算　状　況

（１）平成３０年度一般会計歳入歳出決算書

日本赤十字社鹿児島県支部

歳入

科目	予算現額(A)	決算額(B)	予算現額に比し増減(B)-(A)	収入率(B/A)	全体比
	円	円	円	%	%
支部収入	291,714,000	291,128,937	△ 585,063	99.8	100.0
社資収入	230,116,000	214,400,166	△ 15,715,834	93.2	73.7
補助金及び交付金収入	2,051,000	905,960	△ 1,145,040	44.2	0.3
繰入金収入	116,000	1,286,212	1,170,212	1108.8	0.4
貸付金償還金収入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	1.7
雑収入	2,808,000	3,990,430	1,182,430	142.1	1.4
前年度繰越金	51,623,000	65,546,169	13,923,169	127.0	22.5
合　計	291,714,000	291,128,937	△ 585,063	99.8	100.0

歳出

科目	予算現額(C)	決算額(D)	不用額(C-D)	執行率(D/C)	全体比
	円	円	円	%	%
支部費	291,714,000	244,696,034	47,017,966	83.9	100.0
災害救護事業費	27,162,000	23,899,466	3,262,534	88.0	9.8
社会活動費	43,331,000	31,864,062	11,466,938	73.5	13.0
国際活動費	244,000	116,000	128,000	47.5	0.0
指定事業地方振興費	1,216,000	1,216,000	0	100.0	0.5
地区分区交付金支出	43,340,000	38,808,650	4,531,350	89.5	15.9
社業振興費	41,083,000	30,811,846	10,271,154	75.0	12.6
基盤整備交付金・補助金支出	824,000	823,881	119	100.0	0.3
積立金支出	31,444,000	22,449,384	8,994,616	71.4	9.2
総務管理費	58,360,000	56,540,947	1,819,053	96.9	23.1
資産取得及び資産管理費	8,109,000	6,458,174	1,650,826	79.6	2.6
本社送納金	34,065,000	31,707,624	2,357,376	93.1	13.0
予備費	2,536,000	0	2,536,000	0.0	0.0
合　計	291,714,000	244,696,034	47,017,966	83.9	100.0

歳入歳出差引額　46,432,903 円

(2)　平成３０年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

鹿児島赤十字病院

〔収益的収入〕

科　　目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し増減(B)−(A)	収入率 (B/A)	全体比
	円	円	円	%	%
1 医業収益	3,581,023,000	3,396,249,180	△ 184,773,820	94.8	96.6
2 医業外収益	58,522,000	53,840,657	△ 4,681,343	92.0	1.5
3 医療社会事業収益	69,701,000	59,401,693	△ 10,299,307	85.2	1.7
5 特別利益	0	4,486,365	4,486,365	0.0	0.1
収益的収入 合計	3,709,246,000	3,513,977,895	△ 195,268,105	94.7	100.0

〔収益的支出〕

科　　目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C−D)	執行率 (D/C)	全体比
	円	円	円	%	%
1 医業費用	3,673,944,000	3,649,055,750	24,888,250	99.3	97.1
2 医業外費用	50,101,000	49,491,351	609,649	98.8	1.3
3 医療奉仕費用	68,701,000	60,217,552	8,483,448	87.7	1.6
5 特別損失	2,000,000	822,946	1,177,054	41.1	0.0
6 法人税等	29,000	0	29,000	0.0	0.0
7 予備費	0	0	0	0.0	0.0
収益的支出 合計	3,794,775,000	3,759,587,599	35,187,401	99.1	100.0

収益的収入支出差引額　　　△ 245,609,704 円

〔資本的収入〕

科　　目	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予算現額に比し増減 (A)−(B)− (C)
	円	円	円	円
1 固定負債	57,240,000	44,571,168		12,668,832
3 その他資本収入	81,409,000	80,875,203		533,797
資本的収入 合計	138,649,000	125,446,371	0	13,202,629

〔資本的支出〕

科　　目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)−(E)−(F)
	円	円	円	円
1 固定資産	60,240,000	49,767,048		10,472,952
2 借入金等償還	78,409,000	75,679,323		2,729,677
資本的支出 合計	138,649,000	125,446,371	0	13,202,629

資本的収入支出差引額　　　0 円

（３）平成30年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

1　事業活動による収入及び支出

科目		予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し増減(B)－(A)	収入率 (B/A)	全体比
		円	円	円	%	%
1 施設収入		378,638,000	383,078,102	△ 11,493,549	101.2	100.4
	1　介護保険事業収入	392,619,000	380,666,553	△ 11,952,447	97.0	99.8
	10 経常経費寄付金収入	0	370,000	370,000	0.0	0.1
	11 受取利息配当金収入	0	1	1	0.0	0.0
	12 その他の収入	258,000	346,897	88,897	134.5	0.1
事業活動収入計		392,877,000	381,383,451	△ 11,493,549		100.0

科目		予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C)－(D)	執行率 (D/C)	全体比
		円	円	円	%	%
1 施設費		357,489,000	349,804,152	7,651,657	97.9	100.0
	1　人件費支出	289,912,000	282,566,830	7,345,170	97.5	80.8
	2　事業費支出	45,385,000	45,376,282	8,718	100.0	13.0
	3　事務費支出	19,739,000	19,737,591	1,409	100.0	5.6
	6　利用者負担軽減額	1,200,000	903,640	296,360	75.3	0.3
	7　支払利息支出	1,153,000	1,150,833	2,167	99.8	0.3
	8　その他の支出	100,000	68,976	31,024	69.0	0.0
事業活動支出計		357,489,000	349,804,152	7,684,848	97.9	100.0

事業活動資金収支差額　31,579,299　円

2　施設整備等による収入及び支出

科目		予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し増減(B)－(A)＋(C)
		円	円	円	円
	14　施設整備等補助金収入	0	0	0	0
	16　設備資金借入金収入	0	0	0	0
施設整備等収入計		0	0	0	0

科目		予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)－(E)－(F)
		円	円	円	円
	10 設備資金借入金元金補償支出	14,808,000	14,808,000	0	0
	11　固定資産取得支出	902,000	901,476	0	524
	12　固定資産除却・廃棄支出	50,000	0	0	50,000
	13 ﾌｧｲﾅﾝｽ･ﾘｰｽ債務の返済支出	5,928,000	5,575,833	0	352,167
施設整備等支出計		21,688,000	21,285,309	0	402,691

施設整備等資金収支差額　△ 21,285,309　円

3　その他の活動による収入及び支出

科目		予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し増減(B)－(A)＋(C)
		円	円	円	円
	24　他会計長期借入金収入	0	0	0	0
	28　他会計繰入金収入	0	772,570	0	772,570
	31　その他の活動による収入	2,500,000	3,360,200	0	860,200
財務活動収入計		2,500,000	4,132,770	0	1,632,770

科目		予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)－(E)－(F)
		円	円	円	円
	21　他会計長期借入金返済支出	5,000,000	5,000,000	0	0
	26　その他活動による支出	11,144,000	10,926,432	0	217,568
財務活動支出計		16,144,000	15,926,432	0	217,568

その他の活動資金収支差額　△ 11,793,662　円

4　当期末支払資金残高

	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し増減(B)－(A)
	円	円	円
事業活動資金収支差額	35,388,000	31,579,299	△ 3,808,701
施設整備等資金収支差額	△ 21,688,000	△ 21,285,309	402,691
その他の活動資金収支差額	△ 13,644,000	△ 11,793,662	1,850,338
予備費	0		
当期資金収支差額合計	56,000	△ 1,499,672	△ 1,555,672
前期末支払資金残高	60,094,000	84,147,667	24,053,667
当期末支払資金残高	60,150,000	82,647,995	22,497,995

5　収入支出の合計

	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し増減(B)－(A)＋(C)
	円	円	円	円
収　入　合　計	455,471,000	469,663,888	0	14,192,888

	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)－(E)－(F)
	円	円	円	円
支　出　合　計	395,321,000	387,015,893	0	8,305,107

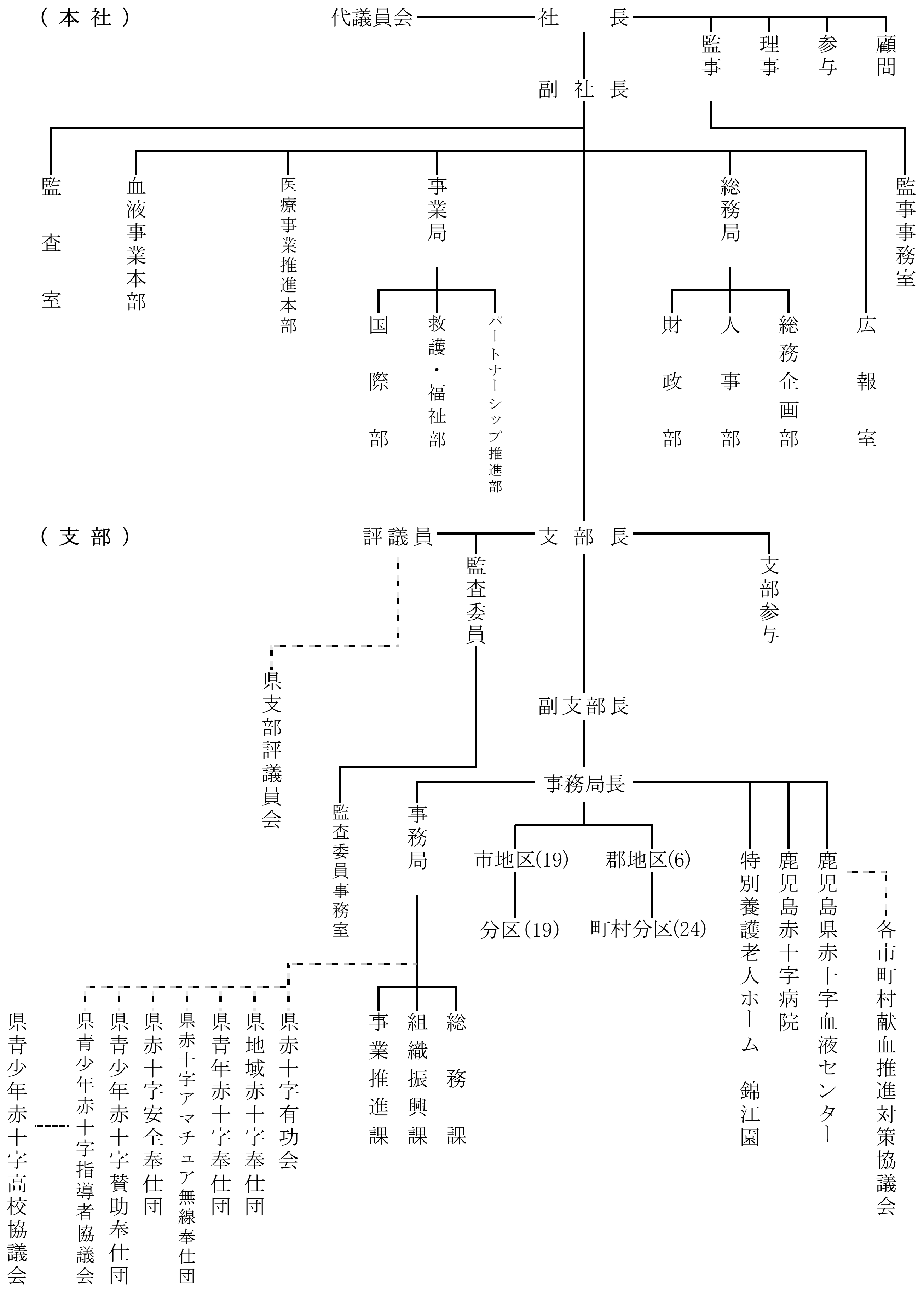
収入支出差引額　82,647,995　円

参考資料

本社及び支部組織図等

組　織　図

（ 平成31年4月1日　 現在 ）



日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿

主　要　役　員　名

（平成31年４月１日現在）

役職名	氏名	現職	任期
支部長	三反園　訓	県知事	H28. 7.28 ～ R1. 7.27
副支部長	中村かおり	県副知事	H30. 10.11 ～ R3.10.10
〃	中山　清美	県くらし保健福祉部長	H30. 4. 1 ～ R3. 3.31
本社理事	岩元　恭一	㈱山形屋　社主	H31. 4. 1 ～ R4. 3.31
支部選出本社代議員	岩元　恭一	㈱山形屋　社主	H31. 2.14 ～ R4. 2.13
〃	田畑　誠一	いちき串木野市長	〃
〃	今別府哲矢	薩摩川内市社会福祉協議会　会長	〃
〃	川畑　俊彦	南生建設㈱名誉会長	〃
〃	伊佐　幸子	赤十字奉仕団県支部委員会委員長	〃
支部監査委員	上川路　長生	公認会計士・税理士	H30. 7. 1 ～ R3. 6.30
〃	大柳　俊一	県町村会事務局長	H30. 4. 1 ～ R3. 3.31
〃	下茂　孝一	元東市来町長	H29. 6.24 ～ R2. 6.23

支　部　参　与

氏名	公職名	就任年月日
東條　広光	県教育長	平成30年4月1日
房村　正博	県くらし保健福祉部次長	平成31年4月1日
庭田　清和	前支部事務局長	平成27年4月1日

日本赤十字社鹿児島県支部　評議員　名簿

■評　議　員

任期(平成３１年２月１４日～令和４年２月１３日)　　平成３１年４月１日現在

地区名	氏名	職業
鹿児島市地区	森　博幸	鹿児島市長
〃	鶴丸昭一郎	鹿児島市社会事業協会 理事長
〃	米盛孝一	日赤鹿児島市地区協賛委員会 会長
〃	中間隆志	日赤鹿児島市地区協賛委員会副会長
〃	臼山　剛	日赤鹿児島市地区協賛委員会副会長
〃	赤星貴子	鹿児島中央赤十字奉仕団 委員長
〃	丸田智恵子	鹿児島市谷山赤十字奉仕団 委員長
鹿屋市地区	中西　茂	鹿屋市長
〃	浜田　保	鹿屋市社会福祉協議会 会長
枕崎市地区	前田祝成	枕崎市長
阿久根市地区	西平良将	阿久根市長
出水市地区	椎木伸一	出水市長
指宿市地区	豊留悦男	指宿市長
西之表市地区	八板俊輔	西之表市長
垂水市地区	尾脇雅弥	垂水市長
薩摩川内市地区	岩切秀雄	薩摩川内市長
〃	今別府哲矢	薩摩川内市社会福祉協議会 会長
日置市地区	宮路高光	日置市長
曽於市地区	五位塚　剛	曽於市長

地区名等		氏名	職業
霧島市地区		中重真一	霧島市長
〃		福永　浤	霧島市社会福祉協議会会長
いちき串木野市地区		田畑誠一	いちき串木野市長
南さつま市地区		本坊輝雄	南さつま市長
志布志市地区		下平晴行	志布志市長
奄美市地区		朝山　毅	奄美市長
南九州市地区		塗木弘幸	南九州市長
伊佐市地区		隈元　新	伊佐市長
姶良市地区		湯元敏浩	姶良市長
郡地区	鹿児島・姶良・北薩	川添　健	長島町長
	大隅	森田俊彦	南大隅町長
	熊毛	名越　修	南種子町長
	大島	伊集院　幼	大和村長
支部長選出		岩元恭一	(株)山形屋 社主
〃		池田琢哉	県医師会 会長
〃		赤塚典久	県赤十字有功会 会長
〃		川畑俊彦	南生建設(株) 名誉会長
〃		佐潟隆一	(株)南日本新聞社 社長
〃		中野寿康	(株)南日本放送 社長
〃		伊佐幸子	赤十字奉仕団県支部委員会 委員長
〃		六笠登由	県青少年赤十字指導者協議会会長

評議員　　計　　　４０名

日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社スローガン　人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則　人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

1949年のジュネーブ四条約締約国	196カ国	世界の赤十字社・赤新月社等	191社

1. 沿　革

明治10年(1877)　5月 1日　博愛社設立
明治20年(1887)　5月20日　日本赤十字社に改称
昭和27年(1952)　8月14日　日本赤十字社法制定

2. 名誉総裁・名誉副総裁

名誉総裁　皇后陛下
名誉副総裁　皇太子殿下・同妃殿下　秋篠宮妃殿下
常陸宮殿下・同妃殿下
三笠宮妃殿下　寛仁親王妃信子殿下
高円宮妃殿下

3. 会　員　個人　12.3万人
（平成30年3月31日現在）　法人　6.8万法人

4. 評議員　2,007人

5. 代議員　223人

6. 役　員

社長　近衛　忠煇（常勤）
副社長　大塚　義治（常勤）　中西　宏明（非常勤 平成30年6月22日就任）
理事　61人（常勤1人、非常勤60人）
監事　3人　（非常勤）

7. 青少年赤十字（平成30年3月31日現在）

幼稚園・保育所	1,663校	142,526人
小学校	6,962校	1,918,716人
中学校	3,443校	952,552人
高等学校	1,893校	279,937人
特別支援学校	166校	15,422人
計	14,127校	3,309,153人
指導者	212,863人	

8. 赤十字ボランティア（平成30年3月31日現在）

地域赤十字奉仕団	2,132団	1,211,009人
青年赤十字奉仕団	158団	7,367人
特殊赤十字奉仕団	642団	33,750人
個人ボランティア	-	4,439人
計	2,932団	1,256,565人

9. 救急法等の講習

	登録者数（平成30年3月31日時点）		受講者数
	指導者	資格者	（平成29年度）
救急法基礎講習	11,118人	179,977人	50,398人
救急法	6,903人	109,370人	495,506人
水上安全法	1,647人	9,187人	69,875人
雪上安全法	240人	1,077人	585人
幼児安全法	2,328人	16,120人	78,507人
健康生活支援講習	1,671人	10,978人	93,878人
計	23,907人	326,709人	788,749人

10. 看護師等の教育

施設数	
大学（大学院併設6）	6
短期大学	1
看護専門学校	16
助産師学校	1
幹部看護師研修センター	1
計	25

一学年養成定員		
看護師	22校	1,315人
助産師	6校	92人
保健師	6校	155人
幹部看護師	1校	120人
介護福祉士	1校	50人

11. 国際活動

国際救援・開発要員派遣（平成29年度）	9カ国	のべ143人
国際赤十字・赤新月社連盟出向	3人（スイス、マレーシア、ケニア）	
赤十字国際委員会出向	1人（ナイジェリア）	
国際援助額（平成29年度）	28億円	

12. 国内災害救護

常備救護班（平成30年3月31日現在）	487班	8,740人
無線局（平成30年3月31日現在）		3,527局
救護車両（平成30年3月31日現在）		668台
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)（平成30年3月31日現在）		132機
災害等救護出動（平成29年度）	5件	210人
取扱義援金額（平成30年3月31日現在）		
1.平成29年度受付義援金（東日本大震災を除く）		35億5,609万9,154円
2.東日本大震災における受付義援金		3,402億8,777万6,233円
配分救援物資(毛布・緊急セット等)		1万7,581個

13. 医療事業

施設数			
病院	92	診療所	5
		老人保健施設	6
病床総数	36,317床（平成30年3月31日現在）		
総患者数（平成29年度）		1日平均	
入院	1,085万人	2.9万人	
外来	1,662万人	6.7万人	

14. 血液事業

施設数			
地域血液センター	47	ブロック血液センター	7
附属施設（献血ルーム121を含む）	173	（分置施設　6）	
献血者数（平成29年度）		供給本数（平成29年度）	
成分献血	132万人	輸血用製剤	1,770万本
400mL献血	326万人	車両台数(平成30年3月31日現在)	
200mL献血	15万人	献血運搬車	797台
計	473万人	移動採血車	284台

15. 社会福祉施設

児童福祉施設数（定員）			
乳児院	8（293）	医療型障害児入所施設	3（286）
保育所	3（358）		
児童養護施設	1　(40)		
老人福祉施設数（定員）			
特別養護老人ホーム（併設ケアハウス20人を含む）	8(773)		
障害者福祉施設数（定員）		複合型施設	1（定員）
障害者支援施設	1(50)	特別養護老人ホーム	(110)
視聴覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設	(100)
補装具製作施設	1	高齢者グループホーム	(18)
		障害者支援施設	(10)

16. 施設及び職員（平成30年4月16日現在）

施設数		職員数
本社	1	533人
支部	47	699人
医療施設	103	58,764人
看護師等養成施設	25	555人
血液事業施設	229	6,146人
社会福祉施設	28	1,207人
研修センター	1	
計	434	67,904人

17. 会　計（平成30年度当初予算）

一般会計	本社	159億2千万円
	支部	187億3千万円
医療施設特別会計		1兆924億1千万円
血液事業特別会計		1,577億9千万円
社会福祉施設特別会計		157億8千万円

（特に断りのない統計数字等は、平成30年4月1日現在）

支部の現勢

平成31年4月1日 現在

役　員

支部長	三反園　訓	
副支部長	中村かおり	
	中山清美	
本社理事	岩元恭一	
本社代議員		5 人
監査委員		3 人
評議員		40 人

赤十字奉仕団委員長及び団員数

赤十字奉仕団県支部委員会委員長	伊佐幸子	
・地域赤十字奉仕団(61団)		
団員数		16,387 人
・赤十字安全奉仕団委員長	中山忠順	
団員数		151 人
・青年赤十字奉仕団委員長	橋口菜摘	
団員数		15 人
・赤十字アマチュア無線奉仕団委員長	松木孝生	
団員数		387 人
・赤十字看護奉仕団委員長	（休止中）	
団員数		0 人
・青少年赤十字賛助奉仕団委員長	室屋　勝男	
団員数		39 人

赤十字有功会

会長　赤塚典久　会員数　330 人(社)

青少年赤十字指導者協議会

会長　六笠登由

青少年赤十字加盟校・園

学校・保育園幼稚園	528 校園
青少年赤十字メンバー	90,040 人

社　員

個人社員	312,324 人
法人社員	1,346 社
合計	313,670 人(社)

講習指導員

救急法指導員	106 人
水上安全法指導員	43 人
幼児安全法指導員	38 人
健康生活支援講習指導員	27 人

医療事業

病院	1 病院
診療科目	9 科

内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科

救急車等の配置

救急車	1 台
災害救援車	1 台
一般病床	120 床
医師	44 人
医療技師	38 人
看護師	117 人

血液事業

血液センター・献血ルーム天文館・鹿屋出張所・川内出張所

移動採血車	5 台
検診車	4 台
献血運搬車（出張所を含む）	20 台
医師	7 人
医療技師	4 人
看護師	34 人

社会福祉事業

特別養護老人ホーム

入所定員数	80 人
短期入所生活介護(ショートステイ)	2 床
介護職員・看護師	50 人

救護・援護事業

常備救護班	8 班
常備要員	48 人
無線基地局・移動局	86 局
救急車	1 台
災害救援車（地区分区配備含む）	67 台
エアーテント	2 基
フレーム式拡張テント	3 張
テント（地区分区配備含む）	151 張
災害物資保管庫等	73 か所
炊き出し用釜セット	73 か所

○ 支部の沿革

明治　10(1877)年5月	博愛社創立
明治 20(1887)年 11 月	日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
25(1892)年　9月	日本赤十字社鹿児島委員部を県庁内に設置
29(1896)年　7月	日本赤十字社鹿児島支部と改称
大正 12(1923)年 12 月	鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収
昭和 12(1937)年 11 月	鹿児島市樋之口町に診療所開設
14(1939)年　5月	谷山町平川2545番地に病院移転,錦江療院と改称
20(1945)年　7月	戦災により支部社屋焼失
20(1945)年　9月	鹿児島市武町日本瓦斯ビル内に支部移転
23(1948)年　5月	鹿児島市郡元町に支部仮庁舎建設,瓦斯ビルより移転
24(1949)年　8月	鹿児島市郡元町支部構内に鹿児島診療所開設
26(1951)年　1月	同構内に支部新庁舎完成
27(1952)年　6月	錦江療院錫山出張診療所開設
27(1952)年　8月	日本赤十字社法制定、日本赤十字社鹿児島県支部と改称
33(1958)年　4月	錦江療院を錦江赤十字病院と改称、鹿児島診療所を病院附属とする。
40(1965)年　1月	鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に鹿児島県赤十字血液センターを開設
42(1967)年　1月	支部構内に血液センター新社屋完成移転
43(1968)年　4月	錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称,附属鹿児島診療所を支部郡元診療所と改称
45(1970)年　6月	県立大島病院内に血液センター名瀬出張所を開設,県立鹿屋病院内に血液センター鹿屋出張所を開設
49(1974)年　4月	支部郡元診療所閉鎖
49(1974)年　6月	特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病院敷地内に開設(定員50名)
50(1975)年 12 月	血液成分製剤の製造開始
52(1977)年 11 月	鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島県赤十字会館完成 支部事務局,血液センター移転
53(1978)年　3月	鹿児島赤十字病院火の河原出張診療所開設
53(1978)年　5月	鹿児島赤十字病院一般25室95床、結核17室75床に使用許可
55(1980)年　8月	血液センター鹿屋出張所閉鎖
55(1980)年　9月	血液センター名瀬出張所閉鎖
55(1980)年 12 月	ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂水市に設置
56(1981)年　4月	鹿児島赤十字病院鹿児島広域市町村圏へき地中核病院に指定
56(1981)年　4月	血液センター献血者全員に検査サービス結果通知開始
56(1981)年　9月	鹿児島赤十字病院一般24室95床,結核15室75床に変更許可
57(1982)年　2月	血液センター供給室及び製剤室増改築完了
57(1982)年　3月	鹿児島赤十字病院一般病棟改築工事落成(鉄筋コンクリート、一部木造811㎡)
57(1982)年　4月	血液センター献血手帳の供給欄削除
57(1982)年　8月	鹿児島赤十字病院一般26室95床、結核15室75床に変更許可
58(1983)年　5月	赤十字看護婦像建立(日本赤十字社看護婦同方会鹿児島県支部)
58(1983)年　7月	鹿児島赤十字病院に新たに理学診療科、放射線科の2科を増設
59(1984)年　3月	血液センター車庫及び倉庫増築完了

60(1985)年 3月	錦江園研修宿泊施設及び15床、増築工事完成(定員70名に変更)
60(1985)年 8月	鹿児島赤十字病院一般29室120床、結核10室50床に変更許可
61(1986)年 2月	血液センター天文館出張所「献血ルーム・天文館」開設
61(1986)年 4月	血液センター400mℓ献血及び成分献血開始
61(1986)年 9月	血液センター採血室、検査室増築工事完成
62(1987)年 4月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床設置)
平成 元(1989)年 2月	鹿児島赤十字病院リウマチ検診車購入
元(1989)年 3月	ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖
元(1989)年 6月	血液センター業務をシステム化
2(1990)年 7月	鹿児島赤十字病院に新たに整形外科を増設
2(1990)年 11月	鹿児島赤十字病院増改築工事完成
3(1991)年 4月	血液センター血液凝固因子製剤製造用原料血漿の送付開始
4(1992)年 10月	鹿児島赤十字病院骨粗しょう検診車購入
4(1992)年 10月	鹿児島県支部創設百周年記念大会開催
5(1993)年 3月	『日赤鹿児島百年史』刊行
6(1994)年 4月	鹿児島県支部事務局組織改正
7(1995)年 1月	阪神・淡路大震災へ救護班2個班出動
8(1996)年 5月	鹿児島赤十字病院エイズ治療協力病院指定
8(1996)年 10月	鹿児島赤十字病院に新たにリウマチ科増設,理学診療科をリハビリテーション科に変更
9(1997)年 3月	鹿児島赤十字病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)指定
10(1998)年 2月	血液センター増改築工事(放射線照射室 他)
10(1998)年 6月	鹿児島赤十字病院検診棟完成
11(1999)年 5月	鹿児島赤十字病院に鹿児島県へき地遠隔医療システム導入
11(1999)年 7月	鹿児島県赤十字会館増改築工事着工
12(2000)年 3月	鹿児島赤十字病院、居宅介護支援事業所指定
12(2000)年 4月	特別養護老人ホーム錦江園介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定(事業所番号4670101114)
12(2000)年 8月	鹿児島県赤十字会館増改築工事竣工
14(2002)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床増床)
14(2002)年 7月	赤十字病院「へき地医療拠点病院」指定(へき地中核病院の再編成)
15(2003)年 1月	鹿児島赤十字病院増改築工事(リハビリ棟 他)
15(2003)年 7月	鹿児島赤十字病院に新たに脳神経外科を増設,休止中の外科を廃止
15(2003)年 11月	鹿児島赤十字病院「保健文化賞」受賞(リウマチ膠原病・骨粗しょう症検診及び離島へき地診療による地域医療の貢献)
16(2004)年 3月	血液センターに新鮮凍結血漿の貯留保管のため供給課にプレハブフリーザー室を増設
16(2004)年 4月	鹿児島赤十字病院に新たに麻酔科を増設
16(2004)年 4月	鹿児島赤十字病院、結核病棟(休床)
16(2004)年 7月	鹿児島赤十字病院 「地域医療連携室」設置
17(2005)年 3月	鹿児島赤十字病院 「救急病院」認定
17(2005)年 4月	鹿児島赤十字病院 「特定診療科(眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科)巡回診療」県から移管

18(2006)年　3月	血液センター改修工事(1階採血施設に献血者問診室を設置)
18(2006)年　7月	血液センター　「献血ルーム天文館」全面改修リニューアルオープン
18(2006)年10月	血液センター　「献血者健康被害救済制度」開始
18(2006)年10月	血液センター　献血手帳を磁気型「献血カード」に変更
18(2006)年11月	鹿児島赤十字病院　MRI室増築　稼動開始
19(2007)年　1月	血液センター　全ての血液製剤について保存前白血球除去開始 (一部製剤は先行実施)
19(2007)年　2月	血液センター　採血時初流血液除去を開始
19(2007)年　3月	鹿児島赤十字病院　医療安全推進室を設置
19(2007)年　4月	鹿児島赤十字病院　言語聴覚療法を開始
19(2007)年11月	鹿児島赤十字病院　放射線撮影室増築工事,中央病棟増築工事完成 一般撮影装置増設,DEXA装置更新
19(2007)年11月	血液センター　九州ブロックにおける検査・製剤集約施設として「日 本赤十字社九州血液センター」竣工
20(2008)年　1月	血液センター　検査業務を九州血液センターに集約
20(2008)年　3月	鹿児島赤十字病院　一般病棟入院基本料「7対1入院基本料」承認
20(2008)年　3月	血液センター　医薬品製造業を廃止し、製剤業務を九州血液センター に集約(製剤業務の集約4/1付)
20(2008)年　4月	血液センター　かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザか もいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン 特別養護老人ホーム錦江園　介護老人福祉施設および居宅サービス (短期入所生活介護)事業所指定更新
20(2008)年　6月	鹿児島赤十字病院　病院機能評価認定病院(審査体制区分2:ver.5) 認定
21(2009)年　3月	血液センター　生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査に変え、 GA(グリコアルブミン:糖尿病関連)検査導入
21(2009)年　3月	鹿児島赤十字病院　国道拡幅工事に伴う改修工事(リハビリ棟・重油 タンク)
21(2009)年　4月	鹿児島赤十字病院　鹿児島県から災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院 として指定 血液センター　献血プラザかもいけクロス採血室の漏電による火災のため 一時閉所
21(2009)年　7月	血液センター　献血プラザかもいけクロスリニューアルオープン
21(2009)年10月	鹿児島赤十字病院　消防・防災ヘリコプター医師搭乗システム協力病院
22(2010)年　3月	鹿児島赤十字病院　鹿児島県から看護学生研修実習生控室(建物)の無償譲渡 鹿児島赤十字病院　錫山・火の河原出張診療所廃止
22(2010)年　7月	鹿児島赤十字病院　DPC対象病院として稼働開始
22(2010)年11月	血液センター　「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン
22(2010)年12月	鹿児島赤十字病院　電子カルテ・オーダリングシステムの導入・稼働開始
23(2011)年 3月	東日本大震災(発災から同年8月までの間)、救護班5個班のほか、こころのケア 要員、病院・施設支援要員、ボランティア等を派遣
23(2011)年 8月	血液センター　鹿屋地区血液備蓄所(鹿屋富田薬品)及び曽於地区血液備蓄所 (曽於郡医師会立病院)閉鎖

23(2011) 年 9 月	血液センター　鹿屋出張所開設
23(2011) 年 11 月	血液センター　川内地区血液備蓄所(アステム川内支店)閉鎖
23(2011) 年 12 月	血液センター　川内出張所開設
24(2012) 年 2 月	ホリスティックヘルスプラザかごしま入場者1万人達成
24(2012) 年 3 月	鹿児島赤十字病院　平成16年4月より休棟中の結核病床廃止(一般病床120床となる)
24(2012) 年 4 月	血液事業の広域運営体制開始
	広域事業運営体制による血液センター組織改正
24(2012) 年 8 月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念絵画・作文コンクール実施
24(2012) 年 12 月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念改築工事(災害対策本部機能等改修工事)
25(2013) 年 1 月	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足
〃	立体駐車場(3階4層:公用車含142台収容)完成
25(2013) 年 4 月	ホリスティックヘルスプラザかごしま入場者2万人達成
26(2014) 年 1 月	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける
〃	特別養護老人ホーム錦江園改築工事竣工(鉄筋コンクリート5階建て全ユニット型)
26(2014) 年 2 月	宮崎県串間市への血液供給を開始(県境を越えた供給)
26(2014) 年 3 月	鹿児島赤十字病院新東棟竣工
26(2014) 年 5 月	血液事業情報システム供給部門導入
〃	血液事業情報システム本稼働
26(2014) 年 6 月	「ホリスティックヘルスプラザかごしま」入場者３万人達成
〃	鹿児島・串木野・奄美の各海上保安部と「海上災害等における相互協力に関する協定」を５０年振りに再締結
26(2014) 年 11 月	鹿児島赤十字病院本館改修工事竣工
27(2015) 年 1 月	鹿児島赤十字病院増改築工事落成祝賀会並びに設立90周年記念祝賀会挙行
27(2015) 年 2 月	鹿児島県赤十字血液センター創立５０周年記念式典挙行
27(2015) 年 3 月	一般社団法人 日本血液製剤機構(JBPO)と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了
27(2015) 年 5 月	屋久島町口永良部島新岳噴火災害へ救護班1個班、こころのケア要員等を派遣
27(2015) 年 8 月	鹿児島赤十字病院永井慎昌医師「第67回保健文化賞」受賞
27(2015) 年 8 月	米盛庄司代議員より、支部事務局へ机、イス寄贈
27(2015) 年 12 月	医療機関での赤血球製剤抗原検索システム開始
28(2016) 年 2 月	「献血ルーム天文館」開設30周年記念キャンペーン開催
28(2016) 年 4 月	血液事業本部　生化学検査のALT基準値変更と抗原陰性血の確認検査廃止
〃	熊本地震災害へ(発災から同年6月までの間)、医療救護班4個班及び災害対策本部支援要員等を派遣
28(2016) 年 7 月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:木曜定休、献血ルーム天文館:金曜定休)
28(2016) 年 9 月	血液事業本部　照射洗浄血小板－LR「日赤」販売開始
29(2017) 年 3 月	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブより、血液センターへ献血運搬車の寄贈
〃	鹿児島県赤十字血液センターの加世田地区血液備蓄所(富田薬品南薩営業所)、大口地区血液備蓄所(山口長生堂薬局)及び出水地区血液備蓄所(出水総合医療センター)閉鎖
29(2017) 年 7 月	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念改築工事(救援物資保管倉庫改修)

29(2017) 年 9 月	日本赤十字社創立140周年・日本赤十字社鹿児島県支部創立125周年記念表彰式及び講演会を開催
〃	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念赤十字ふれ愛親子防災教室を開催
〃	国分地区血液備蓄所(アトル国分支店)閉鎖
29(2017) 年 12 月	指宿地区血液備蓄所(国立病院機構指宿医療センター)閉鎖
30(2018) 年 3 月	阿久根地区血液備蓄所(出水郡医師会立阿久根市民病院)、大島地区血液備蓄所(九州東邦大島営業所)閉鎖
31(2019) 年 3 月	種子島地区血液備蓄所(種子島医療センター)閉鎖

赤 十 字 標 語 一 覧

1973年(昭48)	あなたとあなたの世界に赤十字
1974年(昭49)	いのちを守る赤十字！(救急法，水上安全法，家庭看護法の普及)
1975年(昭50)	赤十字：危急のときのいのち綱
1976年(昭51)	行動する赤十字
1977年(昭52)	人の和を世界に広げる赤十字
1978年(昭53)	参加しよう赤十字
1979年(昭54)	愛に手で世界を結ぶ赤十字
1980年(昭55)	赤十字：みんなのためにどこにでも
1981年(昭56)	あなたとともに赤十字
1982年(昭57)	あなたの身近に赤十字
1983年(昭58)	とっさの手当がいのちを守る！覚えよう救急法
1984年(昭59)	人道を通じて平和へ
1985年(昭60)	あなたの若さを－赤十字
1986年(昭61)	いのちを救う愛の献血－赤十字
1987年(昭62)	幼い生命に愛の手を－赤十字
1988年(昭63)	伝統を明日への力に－赤十字
1989年(平元)	愛の手を世界に広げる赤十字
1990年(平2)	守ろう！人のいのちと尊さを
1991年(平3)	救おう！災禍にあえぐ人々を
1992年(平4)	災害に備えて守る尊い生命－赤十字
1993年(平5)	すべての人々に人間の尊厳を
～	
2000年(平12)	全ての人々に人間の尊厳を
2001年(平13)	人道は限りない力
～	
2004年(平16)	守ろう人間の尊さを
～	
2008年(平20)	人間を救うのは，人間だ。Together for humanity
～	
2012年(平24)	人間を救うのは，人間だ。Our world. Your move.
～	